夕刊
臺灣日日新報
二月十三日

十八年度總豫算案 けふ衆議院通過

本會議全會一致で可決

【東京發】去る十日一百七十億圓の臨時軍事費豫算案の成立に次いで十三日は昭和十八年度一般會計豫算、追加豫算並に各特別會計豫算案が衆議院を通過した、即ち衆議院は去る一月二十九日豫算總會を開會、以來連日國內決戰態勢確立政策の審議を續けて來たが十二日總會に於て正式に之を可決したので十三日午後一時の本會議劈頭に上程、金光委員長より豫算總會の審議經過並に結果を報告し太田正孝氏（靜岡）代表討論を行ひ全會一致を以て[illegible]を可決した、次いで[illegible]十八年度一般會計歲出の財源に充てるための[illegible]法律案外九件が緊急上程され矢野委員長報告通りこれを可決、かくて十八年度總豫算案は貴族院に送付され衆議院先議法案五十件の內豫算關係法案以下三十一件の貴族院送付と相俟つて審議の中心は貴族院に移されることとなつた

貴族院の豫算總會

十五日から總豫算案審議

【東京發】明年度總豫算案は十三日衆議院本會議に於て滿場一致可決され、ただちに貴族院に送付されるが、貴族院は之が取扱ひに關し十三日午前中、矢吹豫算正副委員長、各分科正副主査出席の下に協議を遂げた結果、十五日の本會議に於て首相藏相の財政演說が行はれた後直ちに豫算總會を開會、豫算案の審議に入り十五、十六の兩日は總會として政府から內外諸般の政策を聽取する事に決定した、しかして貴族院としては總豫算案の慎重審議を行ふ爲大體衆議院同樣前後十七日の期間を必要と見て居るので總豫算案の本會議上程成立は三月二、三日頃と見られるに至つた

十八年度豫算純計額

概算四百七十四億餘圓

【東京發】大藏省では十三日衆議院豫算委員會に參考資料として昭和十八年度豫算純計額調を提出したが右によれば十八年度の歲出豫算純計額は概算四百七十四億一千萬圓に達することが明かにされた右は前年度に比し百二十三億六千[illegible]萬圓の增加となつてゐる、即ち十八年度の一般會計豫算は歲入歲出とも百三十二億七千三百餘萬圓でこれに特別の會計年度を持つ臨時軍事費並に特殊財源資金の兩[illegible]

生活賃金形態を確立

小泉厚相、注目の言明

【東京發】小泉厚相は十二日の衆議院戰時行政特例委員會で喜多壯一郎氏（石川）の質疑に對し低物價政策と新賃金形態の構想を述べ名目賃金並に實質賃金との關係に言及し新たに生活賃金形態を設定し緊密を要する五大產業勞務者の生活保障、引いては一般國民生活に一新紀元を劃すべく目下鋭意研究中であることを說明し[illegible]注目された、要旨左の如し

小泉厚相答辯要旨（速記）

今日の低物價政策が從來取つて來た點でよいといふことは言へない、その基調は新たに五大產業の生產を増强する一面國民生活を確保するといふ點にある、軍需方面の物資生產を増强しつつ必需品を消費するといふことが重要である、この二點から物價政策を考へなければ生產增强の隘路は打開されない、從つて今後生產價格または生產物價といふ如きものが考へられべきである、これを厚生省の面から見ると國民生活とのものと物價との間の問題が起きて來る、しかして國家が責任をもつて五大產業の重要物資の生產を增强しまた生活必需品の生產を確保するといふことを考へれば當然そこに賃金の[illegible]が生れる、ここに物價政策の基準が定まると同時に賃金問題、收入の問題が新たに考へられる、低物價を從來の態で維持すればこれと賃金、收入を天秤にかけた場合の問題が今日では非常に變つて來る、そこで賃金の統制制限を撤廢し初給規則等を工場、會社の實態に適するやう考慮しつつ運用するといふことにして來た、五大產業につ[illegible]

新嘉坡攻略戰回顧

ジョホール水道渡過

「マレー半島を進擊中の帝國陸軍部隊は昨一月卅一日夕その先鋒を以てジョホール海峽に進出せり、上陸以來五十五日、踏破行程約千百キロ、爾來敵兵を擊破せる大小の交戰實に九十二回に及べり」といふ大本營發表が我等を湧きたたせたのは昨年の二月一日であつた、丁度此の頃マライ半島の南端に位するジョホール州の

ゴム林の中 には我が部隊が勢ひ立つた皇軍部隊が怒濤の樣に雪崩れ込み物々しく緊張して居た、最早やここまで來ればマライ作戰の第一段階は完全に終了したのであとはただ英軍の心臟部シンガポール要塞にグサリと最後の止めを刺すことがのこつて居るばかりである、[illegible]の開始には一にこの黎明を一期する[illegible]と思はれる、その一部はジョホール水道が無事目に徹したはつて居た、第一線地區、ゴム林の中にひそやかに決戰の準備がつづけられた、マライ半島一千キロの戰線を通じ終始主力部隊として中央縱貫道路沿ひに南下して來た松井部隊並の有る〇〇部隊はジョホールバル西部に集結して中央道河路をねらつた、果敢な飛行機部隊をくり返して[illegible]マライ半島西岸を前進して來た西村部隊も[illegible]東方に出でジョホールバルの東方に[illegible]ウビン島を隔てて水道の東部を渡河するかの如き陽動[illegible]を示した、血のコタバル上陸以來大隊の[illegible]ジャングル地帶を前進して至難な[illegible]作戰をつづけて來た[illegible]部隊は[illegible]闇夜を利して水道の西方に集結し〇〇部隊とその位置を[illegible]して渡河の命令を待つて居たかくて右翼牟田口部隊、中央松井部隊は相並んで

渡河を決行 した、左翼西村部隊は之に先立ち水道東端に於て佯動作戰をとり敵の陽動を誘ひ[illegible]するといふ作戰の下に水も漏らさぬ決戰の態勢は見事に成つた、更に各部隊の集結地點から水道に至るジャングルの中には工兵隊勇士の決死の隱密作業によつて幾本の通路が切り開かれ水道には早くも渡河用の舟艇が浮べられた、背後の高地には友軍の砲兵隊が數百の砲口を並べて引金を握らんで居り、空には我が荒鷲が敵の頭上を旋回して無數爆撃を[illegible]行つて居た、八日正午我が砲兵隊は一齊に總攻擊の火蓋を切つた、間斷ない砲撃はゴム林をゆるがせスコールを呼び夜に入つて愈々激烈さを加へた、青白い三日月がおびえた樣に此のすさまじい地上の光景を照らして居た、その月影も既に山の端に沈した頃、真暗な水道の上にかすかなエンヂンの音がきこえやがて流星にも似た

赤青の信號燈 がうち上げられた、九日午前零時十六分我が軍は遂にシンガポール島敵前渡過に成功したのである、此の日、上陸以來五十五日の紀念日を以てマレー半島を席卷し世界戰史に不滅の金字塔をうち立て、更にシンガポール攻略に決定的な一撃を加へたマライ作戰陸軍部隊の最高指揮官は山下奉文中將であることが大本營より發表され今更の如く世界を驚かせた、渡過に成功した松井、牟田口兩部隊は敵陣に激戰をくり返し敵を殲滅しつつ共に第一の目標地點をテンガー飛行場にとつて前進をつづけた、此の時牟田口部隊は既に飛行場の上空が丸見える程上陸に成功をして居たこれは[illegible]渡過に從つて陣頭に立つて指揮してゐた[illegible]によつて愛た態である、九日午後七時我軍はテンガー飛行場を占領しこに右翼、中央兩部隊は密接な提携を交した後再び相並んで前進をつづけた、之より先ウビン島の奇襲上陸に成功し水道の東方に於て佯動作戰をくり返して敵を牽制してゐた西村部隊は九日夜ジョホール陸橋附近より敵が濁流帶に放したガソリンの火の海を越えて水道に渡過し陸橋を確保し半島よりの補給路を獲得した、十日我軍は既に本島の唯一の要衝ブキテマ高地に迫り敵の最後の抵抗線に移つたのであつたが、此等にはしなくもシンガポール攻略戰中最も慘烈なものとして[illegible]される

ブキテマの 激戰が展開されたものであつた、此の高地は敗れたりとはいへ猶ほ強力な抵抗力を持つて居たのに對し我が方は渡過後未だ間もないため砲兵、重火器の援護は十分と言ふことが出來なかつた、此の惡條件の中で我が前線部隊は鬼神の如き壯烈な戰ひをつづけた、それは御稜威の下勇敢を發揮する皇軍將兵のみが持ち得る精神力を以てする戰ひであつた、十日夜の夜襲によつてさしも堅陣を誇ったブキテマの陣地も遂にその主要部分を拔くことが出來た、二月十一日、激戰の眞只中に迎へる紀元の佳節である、そして此の將兵らがかねぐシンガポール陷落の豫定日だと語り合つて居た日である

將兵の意氣はいやが上にも揚つた、此の日、午後零時十五分左の如き大本營發表が行はれた

一、シンガポール島要塞を猛攻中なる帝國陸軍部隊は本十一日紀元の佳節を迎へて十數年歲月を費した英國の東亞侵略の根據地シンガポールの攻略に邁進しつつ敵を[illegible]に追ひ[illegible]敗退して、紀元の佳節に遠く攻略[illegible]シンガポール市街をただ今繼續攻撃中なり

敵の抵抗は 未だ[illegible]下した、けれども[illegible]西村部隊はシンガポール[illegible]中央松井部隊は[illegible]テマ陣地を突破してシンガポール市東北部の競馬場附近に進出した中には火の中に更に攻擊の態勢を整へ十三日夕刻にはシンガポール市東北三キロの地點に迫進して居た、右翼牟田口部隊は十一日より十二日未明にかけて迫擊砲を以てする敵の集中砲撃をうけ多大の犠牲を拂ひ、此の部隊に從つた[illegible]道、[illegible]に此の擊を[illegible]罪したのであつたが、勇猛果敢な部隊長の陣頭指揮によつて敵大砲陣を擊破して十三日中シンガポール西側地域に進出十四日は友軍部隊の協力の下に更に鐵道沿ひに一路シンガポールを目ざして進擊十五日朝遂にエムパイアードックの西側高地のマウントケッペルの陣地を攻略してブラカンマチ、カニングの砲臺を壓迫しシンガポール市を一擧の下に粉碎し得る態勢を完成した、また左翼西村部隊は[illegible]テマ[illegible]ペイ貯水池の東北方地區に進出十四日にはシンガポール全市民に給水する最後の貯水池マクリッチ附近に殺到した、かくてシンガポールの

死命を制す べき重要地點を夫々占據しつつシンガポール攻略の我が包圍陣は全く完成する一方十三日夕刻ジョホール陸橋の修理と共に我が有力な後續部隊は續々渡河して前線部隊に協力し得ることとなり我が砲兵の砲撃は[illegible]確保された十五日朝來小銃にも反撃が出來ることはあつた、我が方は爭々一擧に市內に突入を決意せしが、さしも頑強な抵抗を[illegible]じることもできず[illegible]此の斷末魔の[illegible]が迫つたので[illegible]ためにはやむを得ないと最後の決意をかためつつあつた、此の時、十五日午後二時三十分白旗をかかげた敵軍使が我が前線部隊の許に來て停戰を乞ひ次いで午後七時フオード工場に於ける山下、パーシバル兩司令官の會見となつてここに敵は

無條件降服 を乞うたのであつた

マレー方面陸軍部隊は本十五日午後七時五十分シンガポール島要塞の敵軍をして無條件降服せしめたり

此の大本營發表を以てマライ方面に於ける陸上作戰は殆ど完全に終了した、そして次の瞬間から昨日まで英國の東亞侵略の基地であつた、此の町に新らしい大東亞共榮圏の理念に基く建設の鎚ひが行はれることとなつたのである

經濟諸團體を網羅

商相答辯 綜合機關研究中

【東京發】岸商相は十二日の衆議院本會議において中村梅吉氏（東京）より商工經濟會法案中に中央機關に關する規定を設けてゐない理由如何との質問に對し商工經濟會の中央機關は重要產業統制會、經濟聯盟その他經濟諸團體と睨み合せて研究に考慮する方針であり更にこれら中央の經濟諸團體を網羅する綜合的機關を設置すべく目下研究中なる旨左の如く答明した

岸商相答辯（速記要旨）

商工經濟會法案には中央の綜合機關において何等の規定を設けてゐないが實際上各商工經濟會間の連絡協調を圖るために協議會的なものが出來ると豫想してゐる例へば今日軍需の府縣を包括して地方經濟ブロックが出來て居るがブロック毎に協議會を作つてやるだらうと思ふ、これを法律に規定しなかつた理由は今日我が國の中央の經濟界の機構を見るに統制會があり、或ひは從來の日本商工會議所があり或ひは中央物價統制協力會議があり又經濟團體聯盟があるといふ風に有力な團體が幾つもあつてこれが互ひに重複してをり又各々も重複してゐる實情にありこれらを網羅した綜合的な中央機構を考へることは今日財界一般の要望するところであるがこれを如何に組織するかといふことに關しては各團體の沿革や使命などを十分考慮して適切な方法を考へて行く必要がある

轉廢業者指導方策

【東京發】小泉厚相は十二日の衆議院本會議において中井一夫氏の「轉廢業者の職業再教育並にその指導」の質問に對し左の如く答辯した

小泉厚相答辯（速記要旨）

轉業指導所も目下東京、大阪の二ケ所に設置してあるがその成績が極めて良好なので先般福岡、愛知の二ケ所に設置計畫を樹て準備中してゐる、今年の夏には全部開業開始の見込みである、それに依つて一ケ月四千人程度の訓練が行はれるが、なほ不足があるので十八年度において全國各府縣に二、三ケ所宛增設所を設置しこれに依つて轉廢業者の重工業方面への轉出の準備を完成したい、更に府縣商業者の技能指導は今日までに勤勞轉換所を全國に百六十ケ所設けてその人の[illegible]

勞務行政權限の

統制會に委譲內容

【東京發】十二日の衆議院戰時行政特例委員會で特殊厚生省勞務局長は水谷長三郎氏（京都）の質問に對し既に厚生省で決定せる勞務行政權限の統制會への委讓の內容及び範圍、統制會の態勢について左の如く答へた

統制會への勞務の權限委讓は大體勞務調整令により每年國民動員計畫を基礎として各重要產業に配置し[illegible]

メラウケ西方爆撃

【リスボン十二日發同盟】メルボルン來電に依れば日本海空部隊は十一日メラウケ西方の反樞軸陣地に爆撃を加へたと云はれる

萊蕪、新泰縣共匪歸順

共產地區一擧にして肅清

【萊蕪十二日發同盟】山東省萊蕪、新泰兩縣新甫山附近一帶に盤據蠢動してゐた共產系匪賊並に縣政府と稱する偽組織の首魁は去る一月二日突如行動を起した我が萊蕪、龍中、野木、陳等の各部隊とこれに協力する萊蕪、新泰兩縣警備隊の擊滅戰に脅威を感じ中二が討伐の恐を惜り唯一の抗戰武器として所持してゐた小銃三百、同彈藥五百、手榴彈百、擲彈筒一千、拳銃四百、地雷其の他の武器彈藥を携へて國民政府に歸順を誓つて來たので九、十兩日萊蕪新泰兩縣でこれが歸順式を行つた

共榮圏の交易統制

交易營團 分國設けず

現地機構を整備強化

【東京發】岸商相は十二日衆議院石油專賣委員會に於て川上嘉三氏（大阪）が共榮圏相互間の交易統制につき質したに對し共榮圏現地には交易營團の分國の如きものを設けることなく既存の現地機構を整備強化して現地の諸機能を持たせ本邦を中心とする強力な統制交易を遂行する旨を左の如く述べた

外地相互間の交易調整については共榮圏各地域に交易營團の如きものを設けることが考へられるが、滿洲に於ける滿洲生活必需品會社、滿蒙公社等既に相當有力な現地機關が各地域にあり、これまでも貿易調整の機能を發揮してゐるのでこれを整備強化することによつて日本中心の計畫交易をやつてゆきたいと思ふ而して現地機關の整備強化に當つては帝國と十分に緊密な聯繫を保持するやう人的資本的に兩者の有機的な結合を圖る

纖維工業の南方進出を研究

岸商相言明

【東京發】岸商相は十二日の衆議院商工組合法案委員會に於ける小川鄉太郎氏（岡山）の質問に對し纖維工業及び中小商工業の南方進出について左の如く言明した

中小商工業者の南方進出については既にゴム製品鑄造業その他纖維業の一部の者に實現を見てゐるが南方經濟の現段階は能力物資の開發と活用にあるので直ちに全面的な移駐を行ふことは困難である、然し纖維工業等については現地の需要を考へ原料等と中小商工業者が各々の能力に應じてに併せ南方進出が考へられるもので中小商工業者と共に現地と連絡して漸次進出せしめる考慮してゐる

赤軍の攻擊力低下

東部戰線、獨陣愈よ强固

【ストックホルム十二日發同盟】ハリコフ地區の赤軍は東、西、北の三方面から同市を包圍せんと企圖してゐる赤軍を迎へて依然激戰を展開してゐるが最近に於て赤軍の攻擊力は低下した模樣に對し赤軍の攻擊は[illegible]して來た模樣で十一日以來戰線に殆ど變化が見られない、更にハリコフ南方三十五哩のアンドレイカに對する赤軍の進出、ハリコフ南方[illegible]四十八哩のデリヤー二ク方面の赤軍の突出は[illegible]されてゐるが之は獨軍の巧妙な戰略的縮小作戰に依つてかかつた結果で同方面に於ける赤軍の進出は赤軍のハリコフ歩兵隊を直接強化せしめるものに他ならない、他方ロストフ地區の戰局も依然膠着狀態を脫し得ず南方は勿論東北部方面でも依然激烈な戰鬪が繼續されてゐる、赤軍のロストフ東北方十五哩のノボチェルカスクより赤軍が進出したと傳へられればロイター通信もロストフ東郊外では市街戰が演ぜられてゐると傳へてゐるが[illegible]抱はまだ確認されてゐない、このロストフ[illegible]の進出に努めつつ[illegible]を行つて未だ獨軍の[illegible]は赤軍に比較して[illegible]の陣地は[illegible]を有利に持つて居り、士氣又極めて旺盛であるから

赤軍一日間の損害

戰車九十飛機六十

【ベルリン十二日發同盟】獨空軍聯隊は東部戰線各地に於ける十一日一日間の戰鬪で戰車九十臺、飛行機六十機を擊墜破した旨十二日發表した

チュニジヤ確保へ

獨軍の態勢愈よ整ふ

【リスボン十二日發同盟】チュニジア戰線からの報道に依ればトリポリ方面から撤收したロメル軍の主力は既にカベスからメデニン附近一帶に到る沿岸地帶のマチノ線にそつて新たな陣地を構築中と云はれ、北部チュニジアにある樞軸軍との連絡も確保しチュニジアに確保の態勢は整つたものの如くである、ここ數日間の獨伊軍司令部公報はリビア、チュニジア國境で[illegible]の衝突が昔の如く散發しない點に據つて居るが、新たな抵抗線に據つて居る點を察じ、新たな抵抗線の構築と反樞軸軍の空襲の時機が新たに注目されてゐる、チュニジア地區を立派して居る、チュニジア戰鬪の本格的展開が開始される迄には相當の時間があると見られ、此の間樞軸方がどれだけ軍需を強化し得るか、問題は今後の補給能力にあると云へやう

我が潛水艦の活躍

濠洲東岸、敵船を擊沈

【リスボン十二日發同盟】シドニー來電=反樞軸軍司令部は帝國海軍潛水艦の活躍に關し十二日次の如く發表した

潛水艦のため擊沈された、右潛水艦は二回に亘り攻擊を加へたが二度目の攻擊後乘組員は救命艇に乘り九時間の後に救助された

木炭增產好成績

二月末優良府縣を表彰

【東京發】農林省では十七年度八億五千二百四十四萬八千瓩の製炭計畫をたて、昨年九月には木炭增產手帳を交付して米味噌等の生活必需物資を特配し或ひは部落から優秀、お酒等の獎勵品を送つて增產の徹底を行つてゐるが生產地では之に感激、勞務力の不足を克服し更に製炭を木炭等の生產物資運搬に取組み、府縣共平均八十五%以上の生產を擧げ、特に岩手、高知は百十一%上昇、就中九州地方及び四國地方等は好成績を收め、次で十二月一日の第二次生產增強期間では各府縣で八十%から八十五%まで上昇、更に第三次生產增強期間では七十%から七十五%であつたものが九月、十一月の第一次生產期間中では前年九月以前各府縣の生產成績に依ると十分擧げてゐる、同省の調査に依るとされながらも之が增產に好成績を擧げてゐる、同省ではかう[illegible]しい增產振りを示した、同省では第二次生產增強期間終了の二月末に增産の好成績を擧げた府縣に對し農林大臣から表彰狀を授與してその勞を報ゆる筈

米英、重慶へ空手形

窮餘の"反攻作戰豫報"

【リスボン十一日發同盟】カサブランカ會談においてチャーチル並びにルーズベルトが主として太平洋に對する反攻作戰を檢討し太平洋方面の戰略についても密接な協調を行ふ方針を決定したとの報道が流布された結果重慶側は盛んに[illegible]ウエーベルが西南太平洋反樞軸司令マッカーサーと會見する豫定と言はれ、今回の會談について米英兩國の首腦が一月二十日ニューデリーに於て四日間同所に滯在したことは否定出來ない、更にイギリス[illegible]の公報は總說として「日本に對する反攻作戰の諸要につき完全な意見一致が達成され日本に對する一切の作戰について計畫を合作し相互に援助する[illegible]決し東亞戰線における共同の決意が確認された」と述べてゐるが、大東亞戰爭勃發以來一年有餘終始重慶を援助し獨軍介石にはゆる東亞反攻作戰の空手形を出し重慶の狀態を取り繕んだと傳へられる、ロンドン米報によれば英國駐重慶大使は十一日特に公報を發表し米英兩國の首腦が重慶における蔣介石との會談においてインド派遣軍司令官ウエーベルと會見した旨を述べ更に蔣介石政權は「右會談において日本軍に對する反攻作戰について完全に意見が一致した」と傳へられ、とにもかくにも深刻な手形を並べたと傳へられる、但しカサブランカ會談の結果に不滿なのは重慶側だけでなく歐洲首相ジョンカーチンも西三國洲の危機を說いて米國政府の援助を泣訴してゐる

して[illegible]を受けた[illegible]「共同の決意」が確認されたとともに蔣介石が參加したと言ふよりも重慶側の報かしよう、これら一切の會談に依る反撃し[illegible]を承認した米英兩國政府は一流の愚者の見地から一切秘密を守りたいと傳へると共に[illegible]一點張の米英兩國政府が重大な反攻作戰を豫告するのは要するに重慶政府を操縱以外の何物でもないと察さるべきであらう

米勞力不足の

指定地域指定

【リスボン十二日發同盟】ルーズベルトの一週四十八時間勞働制の實施に伴ひ米國勞働戰時委員會は同日米國人口の不足してゐる三十二地區に同法を施用する旨發表したが、ワシントン來電によれば同委員長マクナットは更に十一日にも三十二都市を勞力不足地域に指定し四十八時間勞働勢制に[illegible]既に四十八時間の勞働を實施したと傳へられる、右三十二地區以外に勞力不足が發表される日一部市に對し何時でも勞働時間延長命令を實施を行つて志願勞働者の各種勞務に對しては政府は他の方面で適當な方法がある限り出來るだけ新規の勞働契約を與へることを避ける方針であり又現在の勞働契約に從つて勞力追加を必要とせぬ場合に限りこれを行ふ方向である、人的資源委員會の首腦は五十九都市を半年後に勞力不足が預測される地域に指定した

外務辭令

【東京發】外務囑託（十二日）駐滿洲國大使館一等書記官兼外務事務官 結谷[illegible]

獨政府新統治令

舊ソ領に歐羅巴的體制

【ベルリン十二日發同盟】ドイツ政府は十二日ソ聯占領地區における新統治令を發布したがその要點は左の通り

一、新統治令は舊ソ領の共產黨除を根絕して歐羅巴的體制を確保せんとするものである

一、ソ聯の共產黨農場を解放し農地を一般農民の手に返還する

一、その過渡的辦法として共產農場は共同組合組織に依り運營され農民の能率に應じ漸次農民の手に返還されよう

一、この農業新制の政策はウクライナ及び白ロシアの全地域に適用される

東亞經濟懇談會臺灣委員會の幹事會

決戰下の臺灣に應じて新たな使命の達成に邁進すべく東亞經濟懇談會臺灣委員會では十五日午後二時より臺北鐵道ホテルに幹事會を開き近く開催される委員會に提出を左記事項につき協議をなす

一、昭和十八年度事業計畫の件
一、昭和十八年度收支豫算の件
一、委員會開催の件

人事

▲武居郁夫氏（三井物產臺北支店長）十四日夜行にて南部へ、十七日歸北
▲丸田修介氏（日本油脂臺灣出張所長）來北鐵道ホテル
▲田中末吉氏（朝鮮石油社長）南方へ
▲木村一郎氏（臺南工業學校長）來北（臺南）
▲久保市氏（臺南州警務部長）十一日來北上京

鼻の惡い人は
―必ず頭が惡い―
●手輕に治したい方へ無代進呈
鼻が詰る人、年中鼻汁が出る人、頭が重く鈍い人、物覺えの惡く物忘れの甚だしい人等には[illegible]
[illegible]ドクトル[illegible]

脳
光明丸
無代進呈
腦の病、全身神經系統諸症、腦溢血、高血壓、頭重、肩凝、記憶思考精力減退、小心恐怖症、癲癇、耳鳴、耳鼻病、不眠
定價 七圓 十四圓 三圓 十五圓 五圓
代理店 丹平・森田・小林
願成閣

イブセン
IBSEN

齒牙愛護はスモカの使命！
齒力 體力 國力
タバコのみの
齒磨スモカ
十六錢（稅共）
煙草雜貨化粧品藥店にあり

腎臟疾患
危險なる尿毒症、高血壓に推賞せらる
病的蛋白の顯著なる減退は醫家の齊しく驚嘆せらる所にして全國官公立病院指定御採用の榮譽を擔ふ
スルフアミン劑常用者の慶びへ本劑の併用は最も合理的なりと醫界の定評を得
アルブミン
日本藥品洋行

神經痛 リウマチス劑
アトカルミン錠

全國官公立病院御採用品
乳酸菌製劑
腸
下痢、消化不良、腸カタル、便秘等
總べての腸胃諸疾患、特に乳幼兒の消化不良、綠色便に廣く賞用せらる
エンテロノン
日本藥品洋行

女性強壯
內服で…
効果正確！
生理の不順・異常
更年期の頭痛・肩凝・不眠・冷感症
ホルモン 強力
エスチモン
五兵衛商店

關東軍報道隊報告記

嚴寒に國境鎭護磐石

最前線監視哨兵に聽く

【□□國境□□發】□□○○監視哨にて□□報道部隊員發（同盟）】寒氣は□大□り、一尺□□に危を帶び一瞬の□規を代表す、□しく身を以て□□□さに耐へ□□國にこれを□□□すべし（□□□）天も地も凍ること激しい國境監視哨○○の監視哨では今暁兵以下勇士がはち切れる〃と必勝の意氣に總ての困難を排して國境監視の任務に任じてゐる、嚴寒のさなかこの吹雪の監視哨を訪れ目の邊りに見る逞しくも頼もしい勇士の姿、以下は監視哨生活を語る勇士達の談後に聽る座談會である

問　毎日の勤務状態は

武井喜七一等兵（東京市深川區高橋町）起床は八時、點呼、掃除をすませてから搔き集めた雪を□□代りに部屋の掃除、それから○人一組で警備に廻り立哨勤務につきます、勤務は○時間交代です、が夜中に勤務するものでも立哨時間は同様です、また非番のものも他の勤務につき決して休まない、監視哨には休日がなく本隊に手紙や新聞を取りに行く時しか外出しません

問　一番苦心されることは

上野幸三上等兵（東京府八王子市寺町）此處は零下〇十數度まで下りますがこんな時の立哨勤務は相當辛く感じます

越川喜八郎上等兵（□□□□町）四日間位に□□の者が除いて來るが、野菜や魚まですつかり凍つてゐるので料理にとても苦勞します

上野上等兵　立哨してゐる時鉛筆が折れると手がかじかんで削ることが出來ず、また鉛筆の芯まで凍ると直ぐ折れてしまつて使へなくなります

中村末次郎一等兵（新潟縣三島郡□□村）井戸の水も凍つて兵□一杯汲むのにも三時間もかかることもあります

武井一等兵　風呂をたきつける時は燃料節約のため附近から木ッ葉を拾つて來るのでありますが、起床と同時にたきつけるとやつと午後の三時頃になつて熱くなる位です

小池正一郎一等兵（長野縣諏訪郡金澤村）入浴の時流した湯が凍つてしまふので入浴の前後注意になつた□いのも辛いことの一つです

小松重光一等兵（靜岡縣磐田郡□□村）一日おきの監視所掃除番の時監視器の中がすつかり凍つてしまつてゐるのが一番苦手です

問　愉快な嬉しいことは

河内信一上等兵（兵庫縣明石市）何といつても手紙と慰問袋の來た時で、慰問袋が來ると□つた時はその前日徹夜をするのですがこの時の樂しさは一寸口でいへない位です

小林捨己兵長（東京市淺草區左衛門町）慰問袋は一年に二回か三回ぐらゐ來ますがこれが南方のものだつたりすると樂しいですが一寸淋しくなります

上野上等兵　戰友に慰問袋が來てもみんなで分けるのですが、そんな時酒や干柿が入つてゐるともう大變です

越川上等兵　國から林檎を送つてひします

武井一等兵　相撲や遊戯をやつてみんな遊びますが、宴會が出來ると急に若くなつたやうでとても監視哨生活は愉快になります

小島隆久一等兵（埼玉縣北足立郡片柳村）眼鏡で周圍を眺めると時々ソ聯兵が若い女を伴れ隊を組んだりして歩いてゐるのを見ますが、そんな時自分達の責任の重さを感じて思ひます

問　銃後への希望と約束は

小池一等兵　自分達は筆不精でしか手紙が出せんが銃後からの手紙は封書にして頂きたい

武井一等兵　銃後で不足してゐるお菓子なんか一寸も欲しくないからただ眞心の籠つた手紙をお願ひします

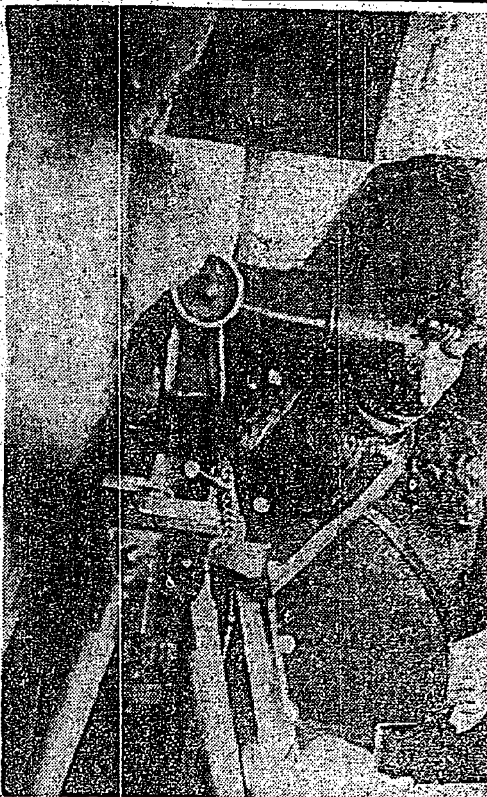
小松一等兵　家から田舍の新聞で送つて來るとその香りを嗅いだだけで□□□□します

河瀬上等兵　家族の寫眞を出來るだけ送つて欲しいです

小松一等兵　家から田舍の□□を知らせて來た時が一番嬉しいです

小池一等兵　射撃□□をやつてゐる時が一番愉快です

小林兵長　どんな寒さにも負けず十分職責を盡んで北の護りをやりますからどうか銃後もしつかりやつて下さい



零下四十度に立つ　―北滿國境撮影行―

寒氣を正面に國境を監視する我が勇士と長谷川關東軍報道部長（右）

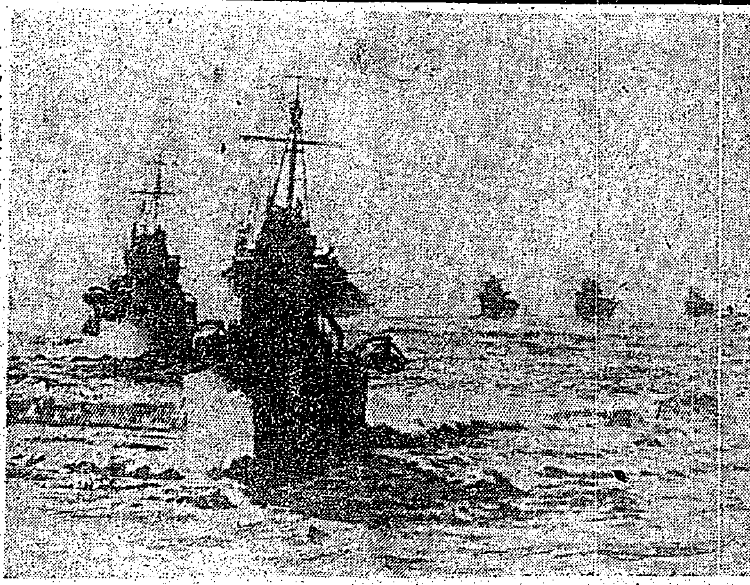
北の守護神防人神社

將兵の奉仕作業で見事竣工

【北部國境○○にて村上報道班員發（同盟）】日本の最北部を護る北邊部隊の兵舍の□□によくもかう立派な神社が建立されたと驚きは□□□□□□□□□□□□□□□□で國境守備に任ずる部隊の守護神たる所に防人神社の名稱の起源がある、□□、地均らし、基礎、石垣、本殿、鳥居參道から境内の樹木に至るまで悉くが將兵の熱誠溢れる奉仕によつて成つた防人神社が全部隊將兵の信仰の對象となつてゐることは勿論である、萬物凍る寒氣を衝いて毎朝起床前には□□の部隊が何時參拜するのか朝風吹き荒ぶ日も吹雪の日も、夜明け頃には□□の目も□□についてゐる[illegible]

五穀豐穣祈願　十七日新年祭大祭

【宜蘭電話】決戰下米穀增産は國家の至上命令である□□□□□□□□宜蘭神社では二月十七日午前九時より祈年祭大祭を執行するが州から幣帛供進使として稻田總務部長、中島□□が參向するが地元市民、郡守、署長をはじめ官民多數參列し五穀豐穣と食糧確保を祈願に新たに誓める



敵艦隊擊滅に驀進する我が水雷戰隊

―海軍省許可濟第一〇一號―

銃後を凌ぐ廢品更生

[illegible]

困苦　[illegible]

見事　[illegible]

陣營　[illegible]

″行″に鍛へる防疫戰士

マ病防遏技術員錬成

[illegible]

譽れの子寶翼贊家庭　三

血の滲む育兒三十年

出生に追付かぬ年收增加

李謀穡氏一家の巻

[illegible]

夫婦　[illegible]

長男　[illegible]

六人　[illegible]

親戚　[illegible]

兩親　[illegible]

引籠　[illegible]

私信から機密が漏れる

多過ぎる國民の不注意

【東京發】[illegible]

經濟　[illegible]

外部　[illegible]

隣組淨汗の結晶

大型待避所見事完成

[illegible]

初等教員を速成養育

島内各師範學校で近く講習開始

[illegible]

建艦運動に″半日戰死″

新竹市自動車運輸會社で計畫

[illegible]

郷軍臺北市東第一分會行軍訓練

長距離武裝行軍

[illegible]

將兵、遺家族招き慰安觀劇

[illegible]

訓練所修了者

圍み激勵懇談

[illegible]

民防空へ萬全の構へ

花蓮港市隣組防空の組織强化

[illegible]

硬貨を混へ二百餘圓

陣頭挺身に學ぶ感激

[illegible]

郷友の奮戰に感激

ブスリン社の社衆篤志

奮鬪　[illegible]

遊休山地も增産へ

新竹州　振興協議會創設

[illegible]

白衣の勇士に島民赤誠の″礫″

老母　[illegible]

軍人援護會へ市民の赤誠

[illegible]

進出する臺灣籍民

澁谷南洋局長代理に佛印、泰國の事情を語る

[illegible]

今夜の番組

[illegible]

後三國志　(22)

（赤壁の巻）

吉川英治作　矢野橋村畫

[illegible]

痔と化膿症に　カミツクス

クラブ美身クリーム
健康な美しい肌にする！

結核患者に快報！
努力三十年・遂に完成す
結核專門藥
星製藥株式會社

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

ソロモン、ニューギニヤ方面
艦艇の撃沈破十六隻
飛行機を屠る二三七機

未發表戰果

【東京發】大本營發表（二月十三日十七時）帝國海軍〇〇隊が昨年八月七日以降本年二月七日までにソロモン群島及びニューギニヤ島方面において收めたる未發表の戰果並びにわが方の損害左の如し

戰果

一、艦艇

	撃沈	撃破	計
驅逐艦	〇	三	三
潛水艦	四	四	八
魚雷艇	三	〇	三
哨戒艇	一	一	二
計	八	八	一六

二、飛行機　撃墜　二〇五　撃破　三二　計　二三七

三、船舶　撃沈　八　撃破　二　計　一〇

損害

一、艦艇

	沈沒	大中破	計
巡洋艦	〇	一	一
驅逐艦	三	〇	三
潛水艦	三	四	七
哨戒艇	一	一	二
計	七	六	一三

三、飛行機、自爆及未歸還二二五、大破一一四、計三三九

三、船舶　沈沒五、大中破五、計一〇

悪條件を克服勇戰す

【東京發】ソロモン群島及びニューギニヤ島を中心とする南太平洋における昨年八月七日以來本年二月七日までの半ケ年間における帝國海軍の未發表戰果並に我方の損害が十三日大本營より發表されたこれは主としてニューギニヤ島方面或は百九十六回に及ぶガダルカナル島を中心とする海軍航空部隊の敵要衝攻撃等間斷なき敢闘によつて打ち建てられたものでありこれにより第一次ソロモン海戰以降イサベル島沖海戰までの半ケ年間におけるソロモン群島及びニューギニヤ島を中心とする南太平洋方面における帝國海軍の綜合戰果は艦艇撃沈九十八隻、撃破四十二隻、撃沈破計百四十隻、飛行機撃墜一千百五十二機、撃破百五十九機、撃墜破計一千三百十一機、船舶撃沈三十三隻、撃破八隻、撃沈破計四十一隻と云ふ莫大なるものとなりそれと同時にこの間における我方の損害も艦艇沈沒十九隻、大中破十六隻、計三十五隻、飛行機自爆及未歸還四百六十六機、大破百四十五機、計六百十一機、船舶沈沒十隻、大中破十七隻、計二十七隻となつたのである、南太平洋に築つた帝國海軍の戰ひ[illegible]も決して少しとせずこのことは南太平洋半ケ年の海空戰が如何に激烈死闘を極めたかを如實に物語つて餘りがある、蓋しソロモン群島ニューギニヤ島を中心とする南太平洋こそ大東亞戰勃發以來敗退に敗退を續けた敵アメリカが太平洋における殘された唯一無二とも言ふべき對日反攻の據點として敵アメリカはその海空全勢力を同方面に集中し我が陸海軍部隊・航空部隊を驅逐して一歩々々我が掌中に歸した戰略據點を奪回せんと企圖してゐたのであつた、斯くて昨年八月七日以來この敵企圖を粉碎し我戰略據點を更に前進せんとする我方とここに半歳に亘り間斷なき凄慘苛烈な戰闘が連續され來つたのであるこの半ケ年間における大海戰のみでも第一次ソロモン海戰、第二次ソロモン海戰、南太平洋海戰、第三次ソロモン海戰、ルンガ沖夜戰、レンネル島沖海戰、イサベル島沖海戰と七指を屈し、敵アメリカは敗れても執拗に反攻を續けて來た、然しその反攻はその都度我が堅陣に迎へ今や我が陸海軍は緊密なる協力の下にソロモン群島ニューギニヤ島の各要線に新作戰遂行への戰略據點を設定確立したのである南太平洋に打ち樹てた我が海軍の赫々たる大戰果こそ陸軍部隊の苦闘に絶する悪條件を克服しての勇戰と相俟つて米英撃滅、大東亞戰爭完遂への貢獻大書すべき重大意義を有するのである、而して南太平洋における半ケ年間の彼我損害を比較するならば艦艇において百四十隻對三十五隻四倍、飛行機において一千三百十一機對六百十一機二倍强、船舶において四十一隻對二十七隻一・五倍となり我が戰果の[illegible]に比し著しくその損害が接近してゐることは注目すべきことであつてこのことは敵アメリカが必死の反攻を試みると共に近代戰が一大消耗戰であることを示すものである、南太平洋には今後愈々熾烈な海空の血戰が續けられつつありその様相は今後愈々激化するであらう、されば南太平洋に確立された戰略據點に立つて敵を撃滅し去るために戰力增强に邁進すると同時に南海に散華つた將士に續く搭乘員勇士に代る第二陣を續々送り出さねばならない

一四〇隻、一三一一機
昨年八月以降綜合戰果

【東京發】帝國海軍部隊のソロモン群島及びニューギニヤ島方面における未發表戰果は十三日大本營より發表されたがこれにより同方面における昨年八月以降本年二月七日までの綜合戰果は次の如くである

一、戰果

一、艦艇

	撃沈	撃破	計
戰艦	六	四	一〇
空母	四	四	八
巡洋艦	三六	六	四二
驅逐艦	二三	一八	[illegible]
潛水艦	[illegible]	五	一八
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	九八	四二	一四〇

二、飛行機　撃墜一一五二、撃破一五九、計一三一一

三、船舶　撃沈三三、撃破八、計四一

二、損害

一、艦艇

	沈沒	大中破	計
戰艦	一	一	二
空母	〇	一	一
巡洋艦	三	二	五
驅逐艦	一〇	六	一六
潛水艦	四	五	九
哨戒艇	一	一	二
計	一九	一六	三五

二、飛行機　自爆及未歸還四六六、大破一四五、計六一一

三、船舶　沈沒一〇、大中破一七、計二七

カルカッタ等被害狀況

【イスタンブール十二日發同盟】英印當局は十二日東部國境方面の戰局並に日本航空部隊のカルカッタ、チッタゴン兩市の爆撃の被害狀況を次の如く發表した

一、インド東部國境地帶に派遣された部隊は目下攻撃のため待機中であるが作戰は地勢の關係上輸送が極めて困難なため[illegible]である

一、日本航空部隊は現在までにカルカッタ七回チッタゴンを十回フェニーを五回爆撃した、爆撃による被害は死者三百四十八名負傷者四百五十九名である

山東省南部に蟠踞
蠢動匪團を猛攻

【濟南十三日發同盟】わが精鋭部隊は山東省南部地區に蟠踞蠢動を續ける匪賊約二千を費縣南方二十五粁の山中に包圍殲滅中であつたが去る十一日の紀元の佳節を期し一齊に猛攻を開始目下戰果擴大中である、十一日夕刻までに判明せる戰果左の如し

遺棄死體四百二十七、捕虜八十七、鹵獲品小銃三百八十四、重機五、輕機十八、自動小銃一、擲彈筒五、その他多數

レンネル沖海戰詳報
薄暮必中の雷撃
敵戰艦忽ち南溟の藻屑

【東京發】〇〇基地にて十三日高塚海軍報道班員發―世界にもソロモン群島に反撃を企てて出動した米國主力艦隊もわが海鷲必殺の雷撃の前には所詮敵ではなかつた、戰艦、巡洋艦、驅逐艦からなる敵大艦隊は一月二十九、三十兩日のレンネル島沖における慘めた敗北に敢なくも姿を消して逃走し去つたのである、帝國海軍部隊の輝しい傳統の歷史はハワイ、マライ沖、珊瑚海、ソロモン海、南太平洋の海戰についでここに又敵戰艦、甲巡各一隻を太平洋の底に叩き込んで更に新しき勝利の一頁を加へたのだ、レンネル島沖海戰に光つた榮ある海鷲の奮戰である、然もこの海戰の行はれた海面こそは昨秋帝國艦艇が凱歌を誇つた附近、今こそその復仇が海軍航空部隊の手によつて成し遂げられたのだ又この攻撃の第一に敢行された薄暮雷撃は開戰以來始めてのことであつたが

果敢無比

のわが海鷲はあらゆる困難を克服してこれに成功、大東亞戰爭史上にこれ又新しき記錄を殘したのである、現地の[illegible]にあつて得た同海戰の詳報は次の通りである

南太平洋に鋭い警戒の目を光らせてゐるわが索敵機が敵主力部隊を發見したのは二十九日朝であつた、敵は大部隊をもつてソロモン群島南端サンクリストバル島の南方海面を北上中である「敵主力部隊見ゆ」の第一報が直ちに打電された敵は[illegible]前後左右に驅逐艦を配して[illegible]しつつ戰艦三隻を先頭に甲巡二隻、更に乙[illegible]、米空母[illegible]の艦隊が洋上に白い航跡を殘して進航してゐる敵艦隊はその狀況を逐々打電した、この報を受けた基地には一瞬緊張の空氣が漲つた、待望の好餌來る、今こそ日頃の腕にもの言はせて敵艦を太平洋の藻屑と葬り去る時が來たのだ、全員は敵艦隊の行動を固唾を飲んで注視すると共に

出撃命令

を今や遲しと待ち構へたこれを知つてか知らずか敵主力部隊は一路北西へと航行を續けてゐる、攻撃隊は勇躍現場を目ざして飛び立つた、やがて〇〇時〇〇分基地に攻撃命令が傳へられた「敵艦だぞ」[illegible]の顏が緊張に輝き[illegible]には決死の色が溢れた、天候に支障なし、整備に拔かりなし、プロペラは[illegible]快調を奏で始めた「成功を祈る」力強い部隊長の言葉に送られてN少佐の率ひる一隊、H少佐の率ひる一隊と相次いで砂塵を蹴して基地を發した、敵艦を狙ふ魚雷は

薄氣味惡

く光つて各機の腹に抱かれてゐた、時に〇〇時〇〇分、薄暮を利して敵の背を衝きこれを撃滅しようと言ふ策である、ソロモン諸島上空を更らに進む攻撃隊がまづ果さなければならぬことは敵艦隊の捕捉であつた、索敵機から[illegible]敵の位置が知らせられては來るが廣い洋上にこの敵艦をうまく掴むことは[illegible]である[illegible]、その困難を克服しつつ攻撃隊は堂々と進んで行つた赤道附近の明るい太陽がだんだん西に傾き始めて[illegible]に赤い夕陽がたなびいた、熱帶の夕焼けは短かい、

海面を金色に照らしたと思ふと間もなく薄暮であつた、攻撃隊は[illegible]〇〇島の南西方に横たはる〇〇島に向つた、〇〇島附近からは天候は曇りとなり雲は百米位まで垂れ下つてゐた、その上薄い夕霧が海面を[illegible]つた、攻撃隊は高度を下げてその雲の下に出ると針路を北に取つて敵の發見に努めた薄暗は愈々迫つて視界は益々狭くなつて來たこの時を逃がしたら或ひは敵艦を取り逃してしまふかも知れない皆は目を皿の様にして海上を見守つた、暗い海面をすぐ下に見ながら攻撃隊はひたすら敵艦を求めつつ[illegible]に向つて進んだ、そして指揮官機から隊長機に「〇〇時〇分攻撃の豫定」と報告されたその一瞬前であつた、何と言ふ天佑か

暗い海上

に敵艦の航跡が遂に水脈の様に尾を引いてゐるのが認められた「みた」「敵艦だ」M中尉が双眼鏡を握つてその發見を知らせようと努めた、だが殆どこれと同時に指揮官機もその航跡を發見して直ちに攻撃隊はその航跡を左下に認めながら進む針路を取り高度はどんどん下げられた、夜の帳は寸前に來てゐる、薄い航跡は進むに從つてその白さを增して來た、その白い航跡の向ふにぽつと黑い影が浮んだ[illegible]各機は[illegible]に打電へると共に攻撃の態勢に移つた、日沒後約〇〇の〇〇時〇〇分であつた、ほんとうに僅かな薄明が西の方に殘つてゐた、そして敵艦隊の背後には暗黑があつた、そこで又とない絶好の攻撃態勢である、敵はまだ自分の死所が直前にあるのを感知しないのか[illegible]防禦砲火を發射して來ない、素早くこの好機を捉へH大尉の一隊はぐつと左へ旋回して主力艦目がけて突込んで行つた、高度〇〇米

雷撃機は

驅逐艦の上を乘越えて進んだ、しかもまだ敵は撃つて來なかつた、敵の一番艦をこの隊は目標にした、[illegible]を避けて進む敵戰艦の舷側に近づいた時必中の魚雷は發射され、敵艦に向つて突つて行つた、その時敵は漸く一齊に防空砲火の砲門を開いた、既に[illegible]洋上一面に赤い火花が散つた、或る者はこれを帝國の花火に譬へ、或る搭乘員は「アイス・キャンデー」が飛んで來るやうだつたと言つてゐる、N大尉の機の魚雷は見事に敵艦の舷側に命中した、續いて〇發の魚雷が命中である、N大尉の隊に引續いてN少佐、T中尉等の隊も敵陣に突つ込んだ、更にO中尉の隊も、N少佐隊の目標は敵の一番艦と二番艦である、驅逐艦から巡洋艦からそして戰艦から必死の防禦砲火が味方に取つて逆にいい目印になつた、それを振り返ると眼前に黑い小山の様な戰艦が現はれた、彼の機の底から振り絞るやうな聲に「發射用意」「撃て」魚雷は發射された、〇本の魚雷が小氣味良くも二番艦を目ざし敵艦はぱつと火の手を擧げたではないか、O中尉の隊はその二番艦とそれに續く三番艦の艦中央を目標に進んだ、手練の魚雷は正しく甲巡にも命中したと見る間に甲巡は艦首を上に上げると暗黑の海に沈んで行つたのであつた、各機は攻撃を終ると猛烈な防禦砲火の中を突き拔けて避退した、文字通り[illegible]すれすれに敵艦の上を飛越えると更に敵の艦列があつた、そしてその次に又巨大な戰艦が[illegible]、その上攻撃前に味方を利した薄明は敵艦列を横切つて避退する雷撃隊に取つて逆に不利な狀態となつた敵はこの時とばかり

集中砲火

を浴せかけた、M二飛曹はその一彈を受けて頭部を粉碎壯烈な戰死をとげた、またN少佐は頸部に擦れるやうな熱さを感じた、一彈が電信機を[illegible]更に坐席を拔いて少佐の[illegible]を傷つけたのであつた、敵の防禦砲火の網の中を潛り拔けて各機が避退を終つた頃敵に全く夜の帳が下り切つてゐたその闇の中をこの攻撃に續いてH少佐の一隊が殺到して行つた、敵艦の炎上を目指してこの一隊は突込んだ、[illegible]二番艦に集中された、指揮官機に從ふ各機は突込んだ[illegible]思ひ切つて敵前に反轉して魚雷を[illegible]直した、そして魚雷を投下したその瞬間であつた、敵の一彈が命中して機はぱつと火を吐いた、[illegible]壯烈な自爆を遂げたのであつた、この猛攻を受けて敵[illegible]火に包まれ[illegible]遂に海底の藻屑と化してしまつたのである、かくて〇〇時〇〇分から〇〇時〇〇分に至る〇時〇分の間にわが海鷲の果敢な攻撃は終つたのである、攻撃終了後[illegible]基地に[illegible]して

雷撃機隊

の歸投を待つた、空一面降るやうな星の無い闇夜である、途中[illegible]に出逢ふものなら一大事である、無事に歸投を望む部隊長や〇〇長の心痛は一通りではなかつた、[illegible]が無電の連絡狀況を確める〇〇長の[illegible]、だが平素の猛訓練に物を言はせた海鷲の夜間飛行は見事であつた、島影もさだかに判らぬ闇の中を續々と基地に戻つて來た、星かと見違ふ翼尾燈の光が基地上空に見えた、[illegible]相次いで着陸した、[illegible]には少しの危氣もなかつた、[illegible]乘員は[illegible]自分の機の番號を告げてその[illegible]、やがて[illegible]N少佐を前に全員が整列、部隊長に報告が行はれた、指揮官の聲は淡々としてこれが今生死の界を往來した人の聲とは思はれなかつた、[illegible]「今度は年貢の納め時だと思つた」と述懷したがこれも生きて還ればこその物語である

この攻撃のわが損害はH少佐機を含めて〇機であつた、翌三十日早朝から出撃して索敵機が發見したのは[illegible]逃走した敵が殘した一隻の傷ついた[illegible]とこれを護衛する驅逐艦とであつた、前日基地の關係から攻撃に間に合はず[illegible]〇〇基地に待機中の[illegible]部隊に命令が發せられた

勇躍鵬翼

を連ねた[illegible]が現場に向つた、そしてガダルカナル島南方をグラマン戰闘機に護られ速力四、五節で油を曳いて南下する敵艦を捕捉した、[illegible]激しい敵の防禦砲火を[illegible]猛烈な[illegible]を交へながら〇〇時〇〇分[illegible]突撃を敢行した手負ひの[illegible]は[illegible]沈沒した、また驅逐艦も[illegible]海底に消え去つた、しかもこれを[illegible]したグラマン[illegible]、ここに前夜の攻撃の止めを刺して輝かしい勝利の記錄を打樹てたがこの日[illegible]の戰果の[illegible]となつたのである

滿尾鐵道部長
近く廣東へ

滿尾鐵道部長は[illegible]廣東[illegible]のため二週間の日程で近く廣東に赴く

農政主要食糧增産
確保委員會を設置

【東京發】決戰下主要食糧の增産確保は緊要の急務であり、十一日衆院豫算總會では特にこの點が指摘され之が强化に一段の工夫を必要とするとの意見が有力であつたのに鑑み[illegible]ではこれを正式にとりあげ、主要食糧增産確保委員會を設ける事となり十三日左の如く二十二名の委員を指名した、同委員會には內務、大藏、農林、商工、厚生の各省委員が臨時參加し得る事とし成案を得次第政府に提出、具體化實現を要望する事となつた

[illegible]

厚生行政の決戰體制
三勅令改正要點

【東京發】厚生省では東條首相より提示された「行政事務簡素化の具體的方針」中昨年十二月一日の閣議において決定せる事項を中心として許可、認可、報告等の行政事務簡素化を圖り[illegible]官民一體戰力增强に邁進すべく準備これが具體案を練つてゐたが、今回[illegible]公布された國民徵用令、勞務調整令及び從業者雇入制限令の三勅令の施行規則を改正、事務簡素化を實現することとなり右三規則の改正省令を十五日公布即日實施することになつた、今回の改正は[illegible]を基準とし厚生省獨自の見解を盛り込み勤勞行政の簡素化を期すると共にさきに閣議決定を見た「生產增强勤勞緊急對策要綱」の[illegible]をも簡素化の中に活かさんとする點に最大の眼目を置いてゐる、この改正により勤勞行政部門の內閣勅令に基く分は[illegible]近く[illegible]が完成すればここに厚生行政の決戰體制は[illegible]化するものと見られる、三勅令改正の要點は左の如くである

[illegible]

貯蓄目標二百七十億
藏相の言明通り決定

【東京發】賀屋藏相は去る九日の衆議院豫算總會における臨時軍事費追加豫算の提案理由說明に際し十八年度の國民貯蓄目標額を二百七十億圓を下らざる額となると述べ、[illegible]ることを明らかにしたが、大藏省では十三日午後本省[illegible]に第九回國民貯蓄獎勵委員會を開き明十八年度の國民貯蓄增加目標額につき審議した結果、右藏相の言明通り二百七十億圓と正式に決定した

尚昭和十八年度推定國民所得五百億圓の內國家資金は租稅百億圓、公債消化資金二百十億圓、生產擴充資金六十億圓、計三百七十億圓となるもので、租稅の百億圓を除く二百七十億圓は國民貯蓄の增强に待たねばならぬと述べ、從つて明年度國民貯蓄目標額は右の二百七十[illegible]

衆議院本會議

【東京發】十三日の衆院本會議は午後一時七分開會、直ちに日程に入り二十一日の豫算總會で可決された

一、昭和十八年度歲入歲出總豫算

一、昭和十八年度各特別會計歲入歲出豫算案

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件

一、昭和十七年度歲入歲出總豫算追加案（第一號）

一、昭和十七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號）

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件（追第一號）

一、昭和十八年度歲入歲出總豫算追加案（第一號）

一、昭和十八年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號）

一、[illegible]

一、臨時軍事費特別會計歲入歲出豫算追加案（第一號）

[illegible]一括上程、[illegible]報告通り可決、貴族院に送付する事とし午後[illegible]散會

中等學校長の
一部異動發令

總督府に於ては十三日附左の如く中等學校長の一部異動を發令した、今回の異動は主に病氣死亡の虎尾高等女學校長の補充と昨年來の病氣に依り辭表提出中の[illegible]臺南第二中學校長の退官を繞つて行はれたものである

臺南第二中學校長　今井彌太郞

依願免本官

基隆中學校長　芝原　仙雄

補臺南第二中學校長

總督府視學官　林　[illegible]太郞

任臺灣公立中學校長

臺中州視學官　[illegible]　明[illegible]

補[illegible]中學校長

[illegible]

最高初級賃金適用
期間の短縮を斷行

【東京發】厚生省では戰下[illegible]の最大要因たる勞務者[illegible]の一手段として今般賃金統制令施行規則[illegible]最高初級賃金適用期間を短縮する事となり十三日公布即日施行した、而して從來の最高初級賃金適用期間が主として勞務者移動を防止する見地から定められその後勞務調整令の施行[illegible]賃金の面よりする移動防止は右調整令に[illegible]勞務[illegible]の面より强化されるに至つた[illegible]從來長期に過ぐる嫌ひのあつた最高初級賃金適用期間を短縮したこれにより主として熟練工、技能者[illegible]、賃金支拂の彈力化を[illegible]たものである、その要點は左の如くである

一、三十歲未滿の勞務者は從來一ケ年最高初級賃金を適用されてゐたがこれを六ケ月に短縮した（從來一ケ年規定は[illegible]に基いてゐた）

二、三十歲以上、四十歲未滿の[illegible]とも從來の一ケ年[illegible]を六ケ月とした

三、[illegible]

印度政廳暴擧
死者九百名

【イスタンブール十二日發同盟】ニューデリー來電＝國民會議派が不服從運動を開始するや印度政廳は會議派の領袖を一網打盡に逮捕、民衆に對し不法彈壓を加へる暴擧を敢てしたが印度政廳內務長官マックスウエルは十二日以上の犧牲者につき次の如く言明した

千九百四十二年末迄に印度政廳は印度人六萬三百二十九名を逮捕、內一萬八千名は有罪と決定した、更に軍隊[illegible]は印度人の示威運動に對し五百三十八回に亘つて射撃を加へたが千九百四十二年末までに判明した死者九百四十名、負傷者千六百三十名である

臺灣、朝鮮には
交易營團分團

【東京發】岸商相は十三日の衆院石油專賣法案委員會席上交易營團に就き左の如く答辯した

一、共榮圈には營團の分團を設置しない方針であるが臺灣朝鮮については內地間の物資交流として取扱はれるので分團を設置し現地機關はこれに統合する

山內警務局長歸任

內地出張中の山內警務局長は[illegible]の所用を濟ませて十三日空路歸任した

外務辭令

外務辭令（十二日）【東京發】

臺灣總督府外事部長兼外務書記官　[illegible]谷　[illegible]

兼任外務省調査官

けふの兩院

【東京發】貴衆兩院とも十四日は日曜日につき休み

戰爭保險取扱
日産火災海上
火災　海上　運送　傷害　信用　[illegible]

對談 民主主義世界の終焉　大串兎代夫　齋藤忠
三月號 五十錢
▲國府參戰と戰力……織田　稔
▼ビルマにおけるインド兵とインド人・宮見　順
▼アリューシャン部隊・松島　寶
大司教フセイン……石山[illegible]郎
マライ半島を思ひつゝ……中島健藏
NBCとBBC……小野俊一郎
映畫を通して見た米英の宣傳……多田裕計
時局雜誌
改造社　東京市芝區新橋七丁目　振替東京二〇四八
革新思想團体讀本……木下半治
トルコの中立を破るものは誰か？……大屋久壽雄
北阿戰局の人々・小松　清
【座談會】戰爭挑發の元兇はアメリカだ
坂西しほ　工藤信一良　近藤晋一　松井明　高松棟一郎

文藝春秋社　東京市麴町區內幸町　振替東京一七〇六三
農村をめぐる維新運動 座談會
出席者・新潟縣翼贊壯年團幹部・於日本海道場
日本的農の精神　杉野忠夫
歸鄉した推進隊員の手記　丸山義二
わが村の足跡　土屋利保
移動演劇隊と共に　小山內徹
チュニジア攻防戰　久野茂男
工場生活三ケ年　黑岩　勇
☆日華提携の新展開☆
神武と皇道　谷萩那華雄
新生中國の動向　海野秀雄
中國知識人に與ふ　片岡鐵兵
參戰經濟の齎すもの　瀧口義敏
中國青年の動向　大中臣信令
戰記
ペナンの回想　寺崎　浩
キナバルの民　堺誠一郎
現地報告
二月號　定價三十八錢　二月七日發賣

校長 中將 高田豊樹
東京無線技術學校
●高等科＝中四卒＝一年卒●普通科一年＝高小卒＝二年卒
無線通信士・無線技術者短期養成　就職先＝滿洲國・軍部・遞信省等
東京市淀橋區[illegible]
無線 獨學で 無線通信士・無線技術者となるには本校外生部に來り「東京無線技術講義」で學べる[illegible]
添削本位 最新製圖講議
[illegible]晴南社製圖部

冬の眼疾二つ
冬に多い眼疾は案外寒や[illegible]から來る急性結膜炎と過勞から來る視力障害とです。
急性結膜炎の治療に
殺菌・消炎・鎮痛・收斂の優れた治病作用をもつ本劑は、眼疾を快適に治癒し、且つ眼疾を豫防いたします
視力障害の回復に
霞み目・疲れ目等の視力障害の場合眼の疲勞を除去して、視力を回復し更に疲れを知らぬ强い視力にします
純正眼藥 スマイル
結膜炎　トラホーム　充血　淚腺症　疲れ目　等に
二五錢　四五錢
總代理店 ㊞ 株式會社 玉置商店

社說

木造船建造に有難き御沙汰

愈々造船報國に邁進すべき秋

今や大東亜の領域に於て連續決戰が展開され斷乎決戰を克服すべく一面戰爭、一面建設の巨歩を進めつつある我が國として戰力增强の國策と共に不可分の關係にあるものは造船力の增强であり海運力の擴充强化である。作戰上は勿論、大東亜の建設、南方資源開發の爲めに一にも船、二にも船と云はれてゐる時代である。之が爲め全國の造船所が全力を擧げて造船能力の增强に努め有る鋼船の外木造船の如きも盛んに建造され一意國家の要請に即應しつつあるの秋、畏き邊りでは木造船建造御奬勵の思召を以て今般特に御用材十萬石を下賜あらせらるる旨の御沙汰あり、此の有難き御沙汰を拜した寺島遞相は恐懼感激し全國木造船關係者と共に愈々その責任の重且つ大なることを痛感し聖旨に應へ奉らんことを期し誠心で決意を披瀝してゐる。右御用材御下賜の御沙汰こそ深遠なる聖旨のほども拜察され、誠に畏き極みである。大東亜戰爭下木造船建造の喫緊な要請に即應必勝努力しつつある全國の木造船建造關係者は勿論、一般造船業者並に海運關係者も赤誠なる聖旨のほどを拜察し愈々奉公、夫々造船報國、海運報國の誠をいたすべく努力邁進しなければならない。

臺灣にありては大東亜の一環として國防上、交通交易上の中樞的地位にあり、又南方圏經營に必要なる人員、物資を送り、南方特產物の處理に當る利用工業に一層協力しつつある關係上臺灣を中心とする海運の重要性並に恒久性に想到するとき、造船業の振興擴充は絕對要請の要因たるを失はず、木造船の如きも當局指導の下に今や漸く軌道に乘りつつある時である。臺灣の關係官民としても聖旨を奉體して船力增强、生産擴充の國家要請に即應すべく島民奮起一意造船能力の增進に努めると共に愈々造船報國の誠をいたさなければならぬと考へる。

マラリア防遏に協力せよ

一

本島傳染病の巨擘たるマラリア病は、昭和十六年の暮から徐々に增加の傾向を現はし今春に入つてからは季節的關係も手傳つて幾分落ちつきはしてゐるが、尙ほ一昨年及び昨年の同期より見れば相當の增を示してゐる。このマラリアは領臺當時より大正初期までには年々一萬の死亡數を示して主要死因の第一位にあつたが之が撲滅の努力に依つて漸減し來り、昭和十六年にはそれが第九位に下つて三千三百五十九となり、肺結核よりも下位となつてはゐるが尙三千數百といふ死亡者數を示してゐるのみならず多數の患者が其の病中に於ける能率を低減さるることは測り知るべからざるものあり、保健運動は勿論、戰力增强の最も緊要たる現下として決して閑却して居ない問題である。

二

之に就て興味あることは最近再流行を見てから島内の或る部落に於て餘りマラリア患者が少しも增加してゐないところがある。之が原因に就て調査して見ると部落民が一致協力して下水の掃除、竹藪の伐採、水溜を除くすること等の物的處理を施し、荷くも蚊族の發生を促すやうなものは悉く之を排除した結果であることが分明した。從つてたとへキニーネが無くとも又た適切なる物的處理に必要な資材が取り[illegible]

[illegible]

届へられなくとも、相當程度に之が防遏に成功することが出來るのであつて、手を拱いて藥が無い資材が無いといつて傍觀して居いであるなどは凡て汗顔の至といはねばならないのである。

三

衛生當局としては此の程全島衛生課長會議を召集してこれに就て研究や對策の樹立を求めてマラリア對策を打合せしたが、その結論として藥品や資材の入手には極力努力はするが一面には上述のやうに部落民の[illegible]努力に俟つといふことになつた。[illegible]

[illegible]すべきであらう。

產業奉公會發足

產業奉公運動の推進體

督府では本島工業の振興に伴ひ勞務對策の強化を期すべく、十三日午前十時より臺北市公會堂に全島各州廳工業課長、警務課長を招集、本府より森殖產局長、[illegible]勞務課長其の他出席の下に勞務對策の根本方策に付き打合せを爲し、愈々勞務對策は産業奉公會と改稱し島民奉公會の傘下に入り勞務調整、勞務供出、法令の周知徹底、現在の勞務協會がもつ行政分野の任務を併せて島民鍊成、勤勞精神の昂揚等の任務をも具備せしめ[illegible]公運動の强力なる推進體に飛躍せしめる事になつた。本島の勞務協會は過般中央勞務協會の下に州廳に官民共同體として組織され昨年七月時局の進展と本島工業の振興に伴ひ之が組織の强化を圖つたが、[illegible]

[illegible]

せ奉公會と協力して產業奉公運動の推進力となり決戰下本島の生產擴充、勞務體制の强化を期する[illegible]

[illegible]見られる

水利事業の新體制

農作物增強へ萬全の構へ

[illegible]

農林業團體統合

殖產局案の大綱決定す

督府では本島の農林業團體統合に關する局内打合會を十二日午後二時から局長室に開催、須田局長以下關係課長、事務官、技師參集の下に愼重審議を遂げた結果、殖產局案の大綱を決定した、更に十三日は總務課長室に食糧課、財務局金融課、總務局地方課等の關係官の參集を見て右大綱案を提示したが、食糧、財務局では[illegible]中の各局長に打診打合を終了した上で十八日各關係局課の下打合會を開き十九日以後に本會議を開催、最後的態度を決定することになる模樣である、而して實施の時期に就ては各團體の資産、經理の關係もあるので十分餘裕を置くことになつて居るが大體内地と同時に施行する方針であり大體本年十一月頃となるものとみられて居る

食糧戰必勝體制へ驀進

積極、消極兩方面の食糧增强の具體施策

本社主催座談會（十二）

食糧增産への檢討

中島與市氏（臺北州勸業課長）　[illegible]

[illegible]

出席者（順位不同）

總督府農務課長	瀬田[illegible]
同糧政課技師	[illegible]
同農務課長	[illegible]
同農務課技師	高澤[illegible]
同	鈴木道一郎
同	宮良[illegible]
食糧局米穀課長	那須[illegible]
同食糧課長	大山[illegible]
國土局土木技師	中林[illegible]
臺北州產業部長	磯[illegible]
同林務課長	菊川[illegible]
臺北帝大理農學部教授	三宅[illegible]
臺北帝大理農學部教授	濱口榮次郎
[illegible]	鈴木進一
[illegible]	内海[illegible]
日本[illegible]支部長	[illegible]
[illegible]	中島與市
[illegible]	阿部[illegible]
本社社長	河村徹
主筆	杉野嘉助
第一部長	[illegible]
記者	[illegible]

根本方針に即應

内海[illegible]支部長　[illegible]

[illegible]

私設軌道評價示達

臺灣軌道運輸近く發足

[illegible]

歷史に輝す慘虐の跡　火山島バンダ

[illegible]

水利職員共濟制度

街庄の恩給制度に準ず

[illegible]

船舶の最短距離運航

内臺航路寄港地變更豫測

[illegible]

纖維既製品配給問題

[illegible]

荷役獎勵金

本年度分遡及交付

[illegible]

專賣局、時局即應

無水酒精製造を他燃料へ轉換

[illegible]

新竹茶の新體制

食糧增産への施策

[illegible]

船舶用品配給會社設立協議

[illegible]

旅館組合聯合會陳情

[illegible]

臺南の臺灣油脂工業

日本油脂と資本的提携

重役五名を增員

[illegible]

東邦金屬專務更迭

[illegible]

商況（十三日）

兜町前場況

[illegible]

[illegible]

滿鐵東亞經濟調査局

野村の

投資信託

第十三次

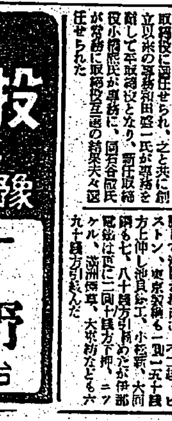
豫約募集中

一口・五百円

（說明書贈呈）

野村證券

台北市表町二ノ一〇



子供を產む度に歯が一本減る……

と謂はれ、昔から當然の事の樣に思はれてゐますが、それは、妊娠中に母體の栄養が不足してゐる證據です

婦人が妊娠すると栄養の要求量が激增します。何しろ、母親自身の健と胎兒の發育とに二重に要求されるのですから當然で、若しもこの間に栄養の補給を怠ると、胎兒の發育が害されると同時に母親の体力も衰へますが、特に、胎兒の骨格を構成する成分が缺乏すると、母体からそれを補ふ爲に母親の骨や歯の質が著しく弱化します

妊婦の弱歯

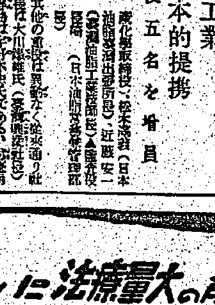
[illegible]

スルフォンアミド劑の大量療法に！

ポンジール

靜脈用

注射液

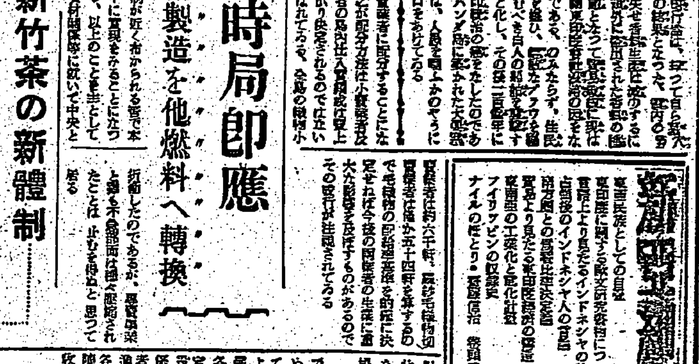


本劑は一回[illegible]量を靜脈内に[illegible]スルフォン[illegible]効果を期待[illegible]用せらる

適應症　急・慢[illegible]症、[illegible]産褥熱[illegible]

包裝　一號　二號

[illegible]



ゼオラ

薬用歯磨

ムシ歯も……

歯槽膿漏……

歯力不足も

毎日のゼオラで豫防する事ができます。家中ゼオラ育ちの強い歯で玄米食へ進みませう！

ゼオラはゼオライトを基劑とした科學的歯磨でムシ歯の豫防は勿論のこと、更に歯槽膿漏や歯力不足の原因になる歯石をとります。

[illegible]

敵頭上に三日三晩

椰子樹で飲まず喰はず根比べ

觀測將校斥候氣魄の殊勳

【南方〇〇基地十三日發同盟】[illegible]大陸の[illegible]に血戰中[illegible]兵たちから[illegible]の[illegible]に未曾の大[illegible]を[illegible]たる部隊に[illegible]して空しく[illegible]すところから[illegible]知れぬわが將兵の[illegible]に[illegible]將兵を[illegible]部のどん[illegible]に[illegible]れた南太平洋[illegible]においてスコールに叩かれ、[illegible]ひかかる[illegible]と[illegible]ひながら[illegible]近のジャングル内で十數日、しかも[illegible]下に三日三晩の樹上生活を[illegible]り[illegible]き[illegible]の作戰を有利に[illegible]いた[illegible]斥候の[illegible]しい[illegible]が[illegible]した[illegible]がある

ガダルカナル〇〇飛行場附近の[illegible]の命を受けた[illegible]野中尉は[illegible]として[illegible]野[illegible]以下[illegible]の部下を指揮して敵の[illegible]を[illegible]谷を[illegible]ひつつ[illegible]の[illegible]を[illegible]行突破して

不眠 不休で潜行し遂に三日目の〇月〇〇日未明、敵飛行場を眼下に見下す敵前〇〇米の至近距離に進出した、ジャングルから抜け出して小高い岡からそつと首を突き出すと多數の敵機が木立ちの間に機首をはみ出してゐるのがはつきりと見えた、エア・コブラ、カーチス、ノースアメリカン、ボーイング、マーチン等敵機とりどりの敵機が無慮にずらりと七、八十機ばかりも並んでゐる、わが荒鷲の好餌となり醜い殘骸を野天に曝したグラマン戰闘機らしいものも二、三機轉がつてゐた、敵はまだ深い眠りについてゐるらしく、敵哨兵らしきものが突つ立つてゐる外は敵兵一人も姿を見せない、[illegible]野中尉は直ちに飛行場の見取圖から距離測定までを詳細に認め部下に托して本隊に急報した、三日目の夜七時頃だつた

突然 轟々たる砲聲が一齊に鳴り響いたと思つた瞬間敵飛行場に火の手が上つた、見る間にジャングルに火がつき、めらめらと燃え擴がつた、火の手は更に敵機を包めて赤々と夜空を焦してゐるではないか"しめた"[illegible]野中尉は思はず[illegible]を絶叫した、自分の報告に接した〇〇本隊が一齊に砲門を開いたのだ、まさに一寸一分の狂ひもない正確な彈で次から次へわが砲彈は[illegible]しに敵飛行場を破壞して行く、今まで[illegible]を[illegible]にしてゐたボーイングもグラマンも見る間に火を吐いて跡形もない、[illegible]を叩かれて仰天した敵兵が蜘蛛の子を散らすやうに右往左往逃げ惑つてゐる、外に燒け殘りの敵機が五六機が飛行場片隅の木立ちに[illegible]を隠してゐるだけだつた、[illegible]野中尉は更にこの夜砲撃陣をなす敵[illegible]陣地へ[illegible]く

偵察 の足を伸ばしたのだつた、行く程にジャングルは深く[illegible]名も知らぬ[illegible]の[illegible]に何處となく道つたが[illegible]は[illegible]いられて夜明けと共に敵砲兵陣地を發見した、眼前僅か五百米、盛上つた[illegible]山の[illegible]からそつと首を覗かせてゐる敵砲兵陣地が手に取るやうに見える、頭上に[illegible]える椰子の木にロープで[illegible]ち上つてただよく眺めるとなんと[illegible]十門といふ[illegible]列がわが陣地の方を狙つてゐるではないか、中尉は早速本隊に連絡をつけた、かくてわが本隊の砲門がまた一齊に火を吐き出し敵砲門を片つ端から[illegible]つて行つたのだ、飛行場と言ひ砲兵陣地と言ひ餘りにも[illegible]確なるわが砲撃に[illegible]く狼狽ひをはじめた敵は翌日から少しでも不安な箇所には盛に山砲、迫撃砲を浴せて來ると

同時 に搜索隊を[illegible]出しはじめた、見つかつては一大事と[illegible]野中尉以下五名の勇士は素早く樹上に[illegible]ち上り、息を殺してゐたが[illegible]く敵は前方[illegible]二、三十米の所に停止した[illegible]しつつ[illegible]かず八方に兵隊を出して探し廻つてゐる、[illegible]野中尉がじつと樹上で敵の行動を見守つてゐると敵兵の一人が[illegible]の[illegible]を[illegible]の中から[illegible]見して[illegible]長のため急いで[illegible]け去つて行く『[illegible]休す』ここで[illegible]になるより潔く敵前で[illegible]を[illegible]いて果てようと思つたが『死ぬのは何時でも死ねる』最後まで頑張らうと[illegible]した中尉は部下に合[illegible]して[illegible]を[illegible]ふと[illegible]ばかりが木の周りにやつて來て[illegible]いわいと[illegible]ぎはじめた、やがて四方八方を[illegible]し[illegible]るが幸ひにも發見されない、それでも[illegible]今[illegible]出來ないのか敵は執[illegible]にも木の附近に天幕を張つてしまつた

身動 き一つしたら敵に見つてしまふ、かうなつたらいよいよ根比べだ、苦しい樹上の生活がはじまつた、大小便もそつと木から垂れ流す、スコールが來て[illegible]さが加はる、腹は空いても食ひ物とてあらう筈がなく水の雫を[illegible]んで[illegible]を[illegible]らせる、無線の大きな[illegible]が所構はず[illegible]に撃ち込んで來る、かうした樹上の根比べが三日三晩續いた、四日目敵はたうとう[illegible]念して引揚げてしまつた、ジャングルの[illegible]に[illegible]に二十日間、かくして[illegible]斥候の大任を[illegible]果し終つた[illegible]野中尉以下五名の勇士達は[illegible]そして引揚げたのだつた

敵愾心昂揚に漫畫家を動員

【新竹電話】皇奉新竹州支部では十二日午後[illegible]宣傳[illegible]の常會を[illegible]き今後一般大衆に對する敵愾心[illegible]揚には手つ取り早く且つ興味深く知らず知らずの中に理解させ得る漫畫を主として使用する事、その爲には市内の漫畫同好者研究會等を[illegible]動員して宣傳班直屬の漫畫家隊を組織する事を申合した、[illegible]今後は米英に對する敵愾心を[illegible]すべしの[illegible]に[illegible]する時に漫畫を[illegible]いて宣傳する事も申合した

譽れの子寶翼贊家庭（四）

「健康」……これが武器

育兒に敢闘の部隊長

許さん一家

[illegible]人を一人もやとはず、育てて來ましたが病氣らしい病氣もせず母子しめて十六人と云ふこの大世帯がすくすくと育つて來たのも私達兩親の力と云ふよりも陛下のお力に依るものと信じて居ります、世間の皆様はこんな大勢の子供を抱へて大變苦勞したことでせう、と同情して下さいますが苦勞と云ふよりも忙しいので閉口しました、でも考へて見るとこの忙しいのがとても樂しいのですよ、今でも他家に嫁いだ娘三人をのぞいた十一人はこの家に居るのです、食事の時はそれはそれは賑やかなものです、四方から突き出す『おかはり』で給仕役の私は結局食事に箸をつけるひまがありません、お父さんはこの騒音にも近い食卓の中から恐らく明日の力が生れるのだ、我が家の健康が[illegible]されてゐるのだと申して居りますが近頃になつて私もつくづくさうだと思ひました……

[illegible]い小さな子供達に圍まれながら[illegible]を通じた記者にこの話をするお母さんは[illegible]子[illegible]十四人の部隊長中の一人、臺中州員林街[illegible]に住む許[illegible]さんの妻、許[illegible]さんだ、先づこの一家を紹介すれば、長男秀能君（三）臺中一中卒、目下上海の[illegible]部隊[illegible]中、次男秀[illegible]君（[illegible]）臺中一中在學、三男秀[illegible]君（[illegible]）臺中工業卒、四男秀[illegible]君（[illegible]）國民學校卒、五男秀[illegible]君（[illegible]）國民學校在學、六男秀[illegible]君（[illegible]）國民學校卒、七男秀[illegible]ちゃん（[illegible]）、八男秀[illegible]ちゃん（四）、九男秀琛ちゃん（三）、長女金英さん（[illegible]）員林部[illegible]家に嫁ぎ男兒二女兒一の母、次女金[illegible]さん（[illegible]）北斗郡[illegible]家へ嫁ぎ男兒二の母、三女金[illegible]さん（[illegible]）員林部[illegible]家へ嫁ぐ、四女金[illegible]さん（一六）員林家政女學在學、五女金[illegible]ちゃん（六）[illegible]ら男九人、女五人でこの[illegible]者のお父さんは臺中州[illegible]信用組合に勤めてゐるがまだ四十八歳、お母さんは四十五歳と云ふ若さだから[illegible]く外はない、その上この夫婦の仲に第一[illegible]を[illegible]けて[illegible]生した長女の金英さんを抱へたお母さんは普通の人なら[illegible]盛り、[illegible]びたい頃である十八歳だつたのだ、そしてお母さんが三十[illegible]になつた時は早や四男、四女の母となつてゐた、然しこの神技にも等しい[illegible]の[illegible]もお父さんの兄弟が五人お母さんは十一人の多[illegible]に育つた娘と[illegible]つて見れば"なるほど"と[illegible]者にうなづかれたことと思ふ

『いろいろと苦勞したでせうね』『いや[illegible]的には多少[illegible]もありましたのでどうにかやつてゆきました、ただ子供の教育には頭を痛めましたよ、子供が多いと教育に一番惱まされますよ』と[illegible]しいお父さんとしてはさもあることだ、それにしても今の如き配給時代ではさぞ不便の多いことと思ひお母さんに聞いたところ、

『同年中ですから物が少くないとか喰へるものがないとか、文句を云ふことも出來ませんが、この邊は頭數で配給せず一戸[illegible]のため石鹸、燐寸等は二人の家も私の家も同様ですからどうにもなりません、それに買出しするときはちよつと氣がひけるときがあります、餘り買込むと[illegible]でもしてゐるのではないかと[illegible]はれはせぬかと思いますのでいつも[illegible]より[illegible]く買ふことにしてゐます、まさか胸に"子供十四人あり"と書いて[illegible]るわけにもゆきませんからネ……[illegible]中なのですからお米が喰べられるだけで結構ですよ、それに大勢で喰べるとどんなものでもとてもおいしくいただけますからまあこれだけでも他人より有難いと思つてゐます』

『お乳はどうでした』『お陰様でよく出ましたのでとても助かりました、人はなんと云つても健康でないと駄目ですよ』

お母さんは"多産"の[illegible]をここでほのめかした『健康』——これ[illegible]の[illegible]を[illegible]る先づ健康からであると記者はつくづく思つた、そして話しを打切つて[illegible]れを告げやうとしたところに三兒の母となつてゐる長女の金英さんがひよつこり顔を出した

『あなたもお母さんになつてみるとさうですが、あなたから見たけふまでのお母さんはどう思ひますか』

『本當に"母"は強く尊いものだと思ひました、家に居る頃は[illegible]ばかり申してゐて[illegible]でしたが、つくづくいま思つて[illegible]ります、私もいま三兒を抱えてゐますが十四人の子供を育てた母はどんなに私達子供がいままで知らなかつた苦勞をして來たかが多少判つて參りましたけど[illegible]有難さで一ぱいですわ、自分の母をこんなに申しては可笑しいかも知れませんが全く母は[illegible]らかつたと思ひます、私もこの母に負けないよう、少しでも立派な母になるやう努力したいと思つてゐます』

この母を讃へるものは金英さんばかりでない、或る意味では[illegible]乙女の[illegible]も捨ててひたすら育兒[illegible]をつづけて來たこの母こそ[illegible]なる『日本の母』なのだ、[illegible]のたつにしたがつて[illegible]から子供達が一人、二人と寄つて來た、或る子は母の膝に乗り、或る子は母の肩に手をやる、また母の左手を右手をなんとなしにいじくり廻してゐる子供等々お母さんは、すつかり子供等に包圍されてニコニコしてゐる、記者はその樂しさうな母の姿に接してふと"多くの子に恵まれた母親ほど幸[illegible]を感じせしめるものはない"と云つたある詩人の言葉を思ひ出し心の中でそつと頭を下げこの家を後にした

東郷會臺灣本部

發起人會を開く

東郷元帥の遺徳を讃へ併せて海軍精神涵養の財團法人東郷會臺灣本部發起人會は十三日午後五時より臺北鐵道ホテルで高木馬公警備府司令長官代理、[illegible]府[illegible]局長並に臺北[illegible]武官府伊藤[illegible]少將、[illegible]中佐、その他民間より増田臺拓社長、臺銀水津頭取代理、加藤臺拓社長、何村[illegible]社長、木村[illegible]、[illegible]社長、[illegible]代理、加藤林業支店長、中村日郵支店長、大阪商船臺灣支店長代理、[illegible]支店長、南日本[illegible]長代理、世話人中山[illegible]氏等が列席して擧行された、定款その他について増田、水津、加藤、何村、木村、[illegible]の六氏を[illegible]委員に[illegible]し[illegible]を決定する事に異議なく可決、それより懇談會を催し午後八時盛會裡に散會した、尚同會發會式は來る五月廿七日の第卅八回海軍記念日を期して擧行される豫定であり、また同會支部を各州に設置の[illegible]である、更に[illegible]所[illegible]に依り東郷會臺灣本部吹奏樂[illegible]を[illegible]も實現の段階である

前線に慰問袋を送れ

鄕土の便りは將兵の勵みの糧

【滿ソ國境〇〇にて吉田特派員發同盟】「兵隊ばかりの[illegible]より眞心こもつた唯一本の便りの方がどんなに嬉しいか知れません」と語る清水保彦兵長（山梨縣北巨摩郡小淵澤出身）の言葉のやうに滿ソ國境の

兵隊 さん達は懐しき香りの染み込んだ故郷からの便りを鶴首してゐるのである、來る日も來る日も[illegible]、氷雪に包まれた最前線にある兵隊にとつて故郷からの便りこそは唯一の慰みを與へる心の糧であり前線と銃後を結ぶ血のつながりなのである、〇〇部隊を訪れた記者は鶴首しながら故郷の便りを待ちわびる兵の姿を目の邊りに見て如何に鄕土の慰問が尊く兵の慰みの糧になつてゐるかを知り、ともすれば形式的に流れやすい銃後にある身を深く反省させられるものがあつた、南に[illegible]がる我々の戰果と大東亞建設の進軍譜を聞きながら、チットたゞる[illegible]を抑へて默々北を[illegible]る勇士達の眼に日夜映ずるものは[illegible]たる國境風景と[illegible]しい大自然の試煉があるのみだ、この中にあつて慰問袋を、慰問文を求める勇士達の氣持は切實であるが勇士達は[illegible]にもこれをあまり口にさへしないのである、私達は百の[illegible]より先づ一つの實行を

前線 勇士の[illegible]に便りに示さなければならない、常に[illegible]ふ兵と共に北邊の護りに默々と[illegible]する強兵のあることを忘れてはならないのだ（寫眞は慰問袋を[illegible]で分け合ふ前線の兵隊さん）

戰友に溫い爆笑彈

勇士が作る唄ふ樂團部隊

【〇〇にて吉田特派員發同盟】『流れ[illegible]かな[illegible]江の岸の[illegible]みが我が住み家、[illegible]水を[illegible]に[illegible]れば、滿洲娘も一目惚れ』[illegible]の兵隊さんが唄ふ唄の文句そのままにここ前線の兵隊さんは

明朗 でありその面上には微塵の暗さも見られない、これが國境[illegible]の[illegible]とは全く思へない程その生活振りには餘裕綽々たるものがある、聞けばここの〇〇部隊では音樂の好きな兵隊さんばかり〇〇名が集つて樂隊を編成して自ら慰めてゐるとのことだが、何の慰安もない氷雪の國境警備に當る勇士にとつてはこの演藝隊の存在はこの上ない心の糧であり時たま訪れる慰問團以上の喜びであるといふ、〇〇部隊を訪れた報道班員達はこの演藝隊員の元氣に充ちた[illegible]を聞き何かしら胸にこみ上げてくる感激と勇士達の間に湧く溫かい戰友愛とを感ぜずにはをれなかつた、この演藝家は[illegible]川少尉（東京）を隊長として器樂八名、唱歌四名、浪曲その他[illegible]四名、道具方三名、[illegible]明二名、脚本一名[illegible]二十二名から成り又[illegible]の樂團部隊は[illegible]川中尉（東京）を中心に有馬[illegible]の子息有馬上等兵（東京）山下（東京）山崎（東京）小宮（東京）瀧川（東京）竹中（千葉）吉村（東京）村越（埼玉）[illegible]山（東京）の各一等兵より成り一寸した

慰問 劇などは足許にも寄りつけない程の素晴しさである、結成されたのは昨年十一月、僅か三ヶ月の間に既に公演も二回、前線慰問行も十數回に及ぶといふ素晴しさ、勇士の[illegible]は我等の手で[illegible]な演藝は兎角單調に苦しむ勇士達にとつてこよなき慰安ともなり勇戰[illegible]づけともなるのだ、永い冬期間を明け暮れる國境最前線にあつて[illegible]ひ且つ笑ふことこそ慰問の慰安である、國境前線部隊にもこのやうな明るい部隊もあるのだ（寫眞は[illegible]江[illegible]を演奏する〇〇部隊の移動演藝團）

慰問演藝も自給自足

【北部國境〇〇にて三木特派員發同盟】國境の雪や氷で堅く閉ざされる[illegible]となると[illegible]さへ數少い前線の慰問團はぱつたり[illegible]を[illegible]めてしまふ

南方 に戰ふ戰友に思ひを馳せてそれを[illegible]隊のことと信じてゐる北邊の勇士達は『慰問隊を待つ氣持は贅澤だ、我々は我々で戰友同士でお互ひに慰め合はうぢやないか』と凍る黑龍江を眼と鼻の間に睨む國境陣〇〇部隊の勇士達が考へ出した[illegible]中慰問隊の[illegible]で、近く北部國境は勿論西部から東部前線の戰友慰問行が實現しようと云ふのである、兵隊の中から選り拔きの藝能人二十四名をもつてこの[illegible]な一座を組織し隊長[illegible]部の[illegible]により[illegible]から[illegible]まで[illegible]して、目下[illegible]中[illegible]の餘暇を割いては子供のやうに一心に舞臺稽古を續ける[illegible]は明るく賑かに[illegible]いてゐる、而もこれこそ普通の前線慰問隊では絶對見られぬ[illegible]居の出し物であつて、脚本から振付、演出、小

道具 に至るまで全部勇士達の手に成り[illegible]しい[illegible]作揃ひである、これには[illegible]の兵隊さんによる最初の本格的な女形も登場するといふので北邊陣中[illegible]の餘裕も[illegible]もしく、[illegible]下何十度の[illegible]も[illegible]かは[illegible]しくパッと明るくも[illegible]はしい[illegible]友愛の花を咲かしてゐる【寫眞は[illegible]部隊[illegible]の[illegible]、女形の[illegible]つてゐるのは片岡[illegible]左衛門の[illegible]一角[illegible]、同じく立つてゐるのは市村羽左衛門の孫[illegible]一君何れもこの部隊の兵隊さんです】

臺灣語使用者に警告

臺中市國語常用推進隊員活動

【臺中電話】臺中市教育課では今回の國語常用推進運動に方り市内[illegible]年團員百四十名を以て國語常用推進隊を組織し同期間中國語常用の推進をなすこととなり"皆様が日本人なら國語を使つて下さい"との[illegible]のカード五千枚を作製、汽車の中でもバスの中でも臺灣語使用の者に對し右カードを[illegible]りつけて反省を求めるといふ[illegible]な方法をとることになつた

積り積つて一萬圓

國民學校の米英撃滅貯金好成績

【臺南電話】臺南[illegible]國民學校では兒童の買食ひを防止し[illegible]を[illegible]し國策に沿ふ兒童の貯金[illegible]に資する爲め昭和十七年一月八日を期し同校兒童に對し各[illegible]に米英撃滅貯金箱一個宛を[illegible]け毎日貯金させ毎月八日の大詔奉戴日には受持訓導が取纏め[illegible]組合又は郵便局に貯金した結果積り積つて[illegible]二月八日現在[illegible]八千五百餘圓の大金となり三月末には一萬圓を突破する見込であるが、買食ひに依る[illegible]も防止され又兒童の貯金[illegible]には[illegible]されてゐる

奉公の推進を凝議

臺南州奉公運動推進座談會

【臺南電話】臺南州では奉公運動[illegible]部長、[illegible]長が[illegible]明指導に[illegible]ち州下各地方の奉公運動推進を行つたが十二日午後三時州[illegible]室で奉公運動推進座談會を[illegible]宮本支部長以下推進[illegible]に出席した[illegible]者[illegible]奉公理念の滲透狀況、時局認識の徹底狀況並に各市[illegible]庄の[illegible]狀況につきそれぞれ報告するとともに今後の推進[illegible]に關する懇談を行ふ

國民貯蓄百五十%

東港郡萬丹庄上乗の成績

【東港電話】東港郡萬丹庄における國民貯蓄狀況は生田目組合長以下[illegible]員の[illegible]指導及一般組合員の時局認識と理解ある協力に依り萬丹庄割當高十四萬二千二百二十七圓に對し一月末迄の貯蓄高は廿一萬九千七百五十三圓の一五五%と云ふ好成績を示して郡當局を感激させてゐる、尚同庄では一般庄民の愛國心に依り今後の貯蓄高を二〇〇%に邁進する[illegible]に生田目組合長以下[illegible]員は張り切つてゐる

嘉義郡内マラリア防遏講習會 【嘉義電話】嘉義郡では[illegible]郡管内のマラリア防遏の[illegible]作業を[illegible]に[illegible]長、[illegible]生課長[illegible]官となり同講習は十二日午前中、同郡は十二日午後及十三日午前中行はれたが成績良好である

國策型、蒸汽機關完成

石炭消費量の二〇%を減少

【岡山本社特電】外國の特許品ばかりの中に國策型の國産蒸汽機關を發明し造船日本の爲め萬丈の氣を吐いてゐる技師がある、[illegible]川用造船所造機課長織田[illegible]郎氏は[illegible]能率の悪いくせに巾を利かせてゐる外國特許品ばかりの蒸汽機關に對し優秀國産機を造りたいと苦心の結果K[illegible]機關を發明特許を得[illegible]、造船日本の爲め萬丈の氣を吐いてゐる、K[illegible]機關の特徴は在來のものは[illegible]が内部にあるのを外部に[illegible]へた點で[illegible]、石炭二〇%節約となり[illegible]品も安價だと言ふ[illegible]の國家[illegible]に依る米英打倒と[illegible]されてゐる

聖地綠化に學徒動員

臺南市近く第一回植樹

【臺南電話】臺南州下[illegible]成の[illegible]たる國民道場は近く[illegible]四棟の完成を[illegible]り完成と共に全二十[illegible]の完成を終り[illegible]國民[illegible]道場として一千名收容の能力を持ち[illegible]の[illegible]成に十八年度より一段と強化される[illegible]となつたが、之が完成と共に道場に風致を[illegible]へるため大[illegible]植樹を行ふべく計畫を進めて居り、第一次植樹として相思、タガヤサン（ユーカリ）[illegible]、木麻黃その他二十[illegible]二千[illegible]本を[illegible]定し、臺南第二高女の[illegible]の[illegible]指導下に近く全校生徒[illegible]國民道場生に依り第一回の植樹を行ふ事になつたが、來る七日州民[illegible]すべき[illegible]を含む[illegible]に[illegible]一際の綠化を[illegible]るべく一大植樹を進めてゐる

屏東高女 團歩大會 【屏東電話】屏東高女では生徒の心身鍛錬をなすべく十四日午前九時より高雄鳳山方面に全校生徒の四十粁團歩大會を行ひ午後六時歸校の豫定である

補缺選擧 【高雄電話】旗山郡[illegible]協議會員四名の補缺選擧は十四日午前九時から旗山街第一國民學校投票會場、同第二國民學校において執り行はれる

保健婦募集

[illegible]

財團法人 結核豫防會臺灣地方本部

ラジオ

ニュース（第一）六・〇〇　七・〇〇　一二・〇〇　[illegible]
〇〇　三・〇〇　五・〇〇　七・〇〇
〇〇　九・〇〇　一〇・〇〇
（第二）〇・三〇（[illegible]語と[illegible]語）

【第一放送】

三・三〇（同上）　七・〇〇（[illegible]語）　七・一五（[illegible]語と[illegible]語）　九・三〇（同上）

◇六・五九 時報（東京）◇七・〇〇 [illegible]
◇七・三〇 [illegible]（東京）
◇八・一〇 日曜[illegible]（臺北）用土と肥料の話…[illegible]
◇八・五〇 [illegible]（東京）
◇九・〇〇 勝利の記錄（東京）
◇九・三〇 [illegible]（東京）
◇一〇・〇〇 週間[illegible]（東京）
◇一一・四五 時報（東京）
◇〇・〇〇 [illegible]
◇一・〇〇 浪花節の午後（東京）[illegible]
◇六・〇〇 少國民の時間（東京）シンブン、流[illegible]…一千キロ
◇六・三〇 シンガポールより昭南への[illegible]…二宮[illegible]
◇六・五〇 音樂（レコード）
◇六・五九 時報
◇七・二〇 大東亞に呼ぶ（東京）シンガポール陥落一周年に當りて…永田秀次郎、[illegible]（東京）
◇八・〇〇 [illegible]…慰安の夕（大阪）一、時の朝[illegible] 二、合唱 三、放送劇…土產 四、吹奏樂

【第二放送】

◇五・五〇 [illegible]
◇五・五九 時報（東京）
◇六・〇〇 少國民の時間（東京）シンブン、赤道[illegible]一千キロ…
◇六・三〇 [illegible]
◇七・〇〇 放送劇「[illegible]」[illegible]
◇八・〇〇 [illegible]
◇九・〇〇 音樂…[illegible]

[illegible]

保溫材料　パッキング
岩綿製品　石綿製品
N.A.K.
日本アスベスト株式會社
東京市京橋區銀座西六丁目　大阪市此花區下福島五丁目
名古屋　福岡　小倉　長崎

今日の映畫
大世界館　台劇　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　台北合同興行社
18日マデ　18日マデ　15日マデ　16日マデ　18日マデ　20日マデ
新舞劇團
[illegible]

基隆の映畫
基隆劇場　中央劇場　世界館　高砂劇場　旭劇場
三和劇團
[illegible]

臺灣總督府認定
鑿岩工養成所生徒募集
一、募集人員　五十名
一、資格　[illegible]
一、修業年限　[illegible]
一、申込期限　昭和十八年三月十五日[illegible]
一、入所期日　四月上旬
一、特典　[illegible]
追而銓衡ニ關シ[illegible]
昭和十八年二月
日本鑛業株式會社金瓜石鑛山鑿岩工養成所

産めよ殖せよ
お國の寶……
久月作
雛人形
臺北市榮町
アサヒヤ
電7649番

齒科
高嶺齒科醫院

養成工募集
一、募集人員　電氣科　機械科　五十名　十五名
一、應募資格　[illegible]
一、養成期間　[illegible]
一、手當及待遇　[illegible]
一、申込期限　三月十日
一、申込場所　臺北市[illegible]
臺灣總督府專賣局

會葬御禮
元新化街長從七位勳六等押川貞藏[illegible]
[illegible]

第七回決算公告
兒玉材木店
[illegible]

第三期營業報告
大陽商事[illegible]
[illegible]

斯くて國民貯蓄殊勲甲（四）

國民貯蓄へ强行驀進

納稅報國に全島が體當り

樂滿　窮屈な生活切下げは必要です、たとへば恩給制度の如き、從來の制度のそれはあまりにも窮屈に過ぎてゐた

大澤　今日は一生懸命にかせいで殘らか餘つたらそれを貯蓄にせようといふ時代ではなく、四分の一は先づ差引いて、出來ても出來なくてもその殘りで生活しなければならぬのだ、四分の一差引いたあとにも殘餘分のゆとりのある人は、そのゆとりをも貯蓄へ廻すべきは勿論である

江口　高額の税金のかかる飲み食ひが毎日のやうに續いたのでは、第一國民の爲めになりませぬしそれで以つて納稅報國の役目を果したことにはなりますまい、國民貯蓄の部面に際しては、日の社會を全島的に反映させ、率先垂範の實を、そこから擧げて行くべきではないですか

森　國民貯蓄運動の陣頭に立つ人は、先づ貯蓄實行の模範を示して頂かないことには、われわれが地方に困つて、人々に呼びかける貯蓄の大半を說かれることになる

大澤　差當つての問題は、國民消費を規正して、四分の一貯蓄の點をどうして掲げるかといふことにあるので社會情勢の一面に關聯した規正から脫落する部面があつたりしては、決してゆるがせにするわけには行きません、民心が沈滯する傾向があれば、それに光明と希望を持たせるのは、やはり、われ〱の役目です

森　消費規正の問題になると、策やるべきことは幾らでもある、第一に、此の頃のやうな、配給や統制になりますと、地方では今まで、私や、郡や、州などを說つて間に合してゐたものが、ふりにも米穀を濟はねばならぬことになる、これは困つた問題である消費規正をやらうとして却つて、民間の協力を缺いてゐる、地方には地方の實狀がある、どこもかしこも一率ぢやいけない

工藤　これは矢張り皆になりますが、今までどうかつて、都會の若い連中はどこへ行つても遊ぶ遊び場所がない、地方の銀座や盛場をたよつて休み日を目がけては喰ひ荒らしにやつて行く、それがために生活に餘裕のない方面に却つて負擔がかかるやうなことになりはしまいか、生活の切りつめといふことも、あまり千遍一律な片寄つた見方をすると、却つてそのやうな逆の效果を招くことになる

江口　私どもの關心は社會の下積みになつて、カチ〱の生活をしてゐる人達にどうしたら、少しでも餘裕を與へて、それを貯蓄の方面に振り向けることが出來やうかといふ事にあるのです

座長　少しく方面をかへまして實際に貯蓄運動にたづさはつての實談とか──逸話とか

上吉川　私は臺東の新港方面の井田會に居りますが、貯蓄組合運動に關して出來るだけの機會をとらへて、講演會などやつて居りますが、集つて來る人は、いつもきまつてゐる、時局認識といふものは一部分の人だけぢや困るから隅から隅まで行き渡らせたいと思ひますが、只今のところではそれがどうも一方に偏つてゐる、何んとか、御名案があつたら示して頂きたい

座長　それは、こちらからお聞きしようと思つてゐるところです

上吉川　第一番の社國民貯蓄の既定がまだ一般の目に沁み込んで居らぬ、組合貯金だけを納めるとそれですむ位の所に考へてゐるらしい、それから公債の所で自分の收入がいくら〱といふやうな事はなかなか言ひにくいものと見えまして戰時生活はもつとはだかにならなければ駄目だといつてゐるのですが、さういふ氣持には却々なれないらしい、人に言へないだけでなく、自分にもハツキリとは、わかつてゐないのではないかと思ふ

大東　私は國民貯蓄運動の第一線にたづさはる者で、さうした方面のことはあまり關心をもたなかつた、それで自分が手をつけて見てやうやくその實態に氣がついたやうなわけでありますが、最初はそのために非常に頭をいためた一般の人々の自覺をまづうながさうとするには、自分に持ち合はしてゐる知識常識といふものがあまりにも貧弱である、しかし人間のやることだから、やつてやれないことはあるまいと、一大發奮心を起して、どうやらついて行けるところまでこぎつけました、むづかしい事をいつても地方民にはどうしても分り兼ねるので、一番手つとり早いのが紙芝居、あれでもつて……

座長　結構ですね、紙芝居が一番效果があつたといふわけですか

上吉川　貯金を納める……といふ、あの言ひ方はいけないと思ふ税金のやうに納めたら困つて來ないといふやうな考へをもちやすい、それで、貯蓄運動の非常な支またげになる

座長　後藤さん何か一つ…

後藤　私はこの運動にたづさはる最初から、貯蓄は一致だけ足した金額を各戶別に按分してそれを目標に戶別訪問に出かけた、それで一と通りの說明を得て、それから隣保常會をひらいて、各々定められた額だけを貯蓄額に納入わることにし、私の家に進捗金を持つて來てもらつて、それから私がとりまとめて局に持つて行くことにしましたが、結局はこれは失敗に終つた、二十五日の期限であるところ、二十六日になつても七日になつても持つて來ぬ、そこで私はやはりこれは、自分で廻らねば駄目だと決心して、集めて廻ることにした、ところが、それでも、今日は少し都合がわるいから明日にして呉れとか、あとでこちらから屆けますとか、何んとかいつてなか〱うまい具合に行かねけれども歳を重ねては駄目だと決心をして、根氣よく廻つてあるくうちに、お互ひにやうやく氣心が知れて、先方もこちらの立場に同情を持たれるやうになるし、こちらでも先方の氣持がわかつてさうしばかりのことに腹が立つたりはしなくなる、それから、更に、家庭に呼びかけるには先づ婦人からといふ考へに基づいて、奧さん方にお願ひをして、「絞り出し貯金」といふものを實行して頂くことにした、といつはホンタウに絞り出すので、あり餘つたお金の中から出すのではない、明說のオカブを買ふのにもその中から十錢だけ節約して、貯蓄の方に振りむける……といつたやうなわけである、その次に、現在やつてゐる運動で、大東亞戰爭の記念日にちなんで感謝金…と名をつけた、さういふわけで、現在やつてゐるのは、國民絞り出し感謝金とこの三つの種類である譯だんに感つた傾向があるといふわけでなく至極平凡なことを至極平凡にやつてゐるといふだけである、ただ、私は、どのやうなことでも、やつてやれない事はないといふ固い信念を抱いてゐる、出來ないといふのは、やらないからのことである

佐藤　要するに貯蓄運動は皆關よりも實踐であり、非常に熱意的なポスターを作つたりなんかするよりも隣保式で行くのがはるかに效果的である、大東さんの紙芝居なんか隣の鼠に利きますネ

大東　紙芝居は最初の間とりつきにくかつたが、此の頃は大ぶん慣れて來た

佐藤　貯蓄運動に限らず、一般の時局認識を高める方法も、奧爪らしい理屈で行くよりも、親しみで行つた方が早道である

田原　臺東街に木下さんといふ老人が居られるが、此の人は一口十錢の簡易保險に九十口ばかり這入つて居られるが、此の人が中心になつて、簡易保險加入組合といつたやうなものを造つた、そして或る人は、一人で十口、或る人は十五口といつたやうに、細かいながら奉公の道に精進して居られる、それがやがて積り積つて一ケ年間に五千五百圓ほどの貯金が出來た、これは決して組合貯金に匹敵へたりしないで、それはそれなりに用を辨じてゐる、組合貯金は半強制的に早くから實施されてゐて、これは、國債の消化にも場合によつては、役立つて行く、われわれの區內では高齡の就職さんなんか、實に徹底した貯蓄家であつて、組合貯金でも、國債消化でも、それが出來なければ、わたしが立替へてでも…といつて熱心に說いて廻られる、どこの町でもかうした篤志家が居られると、圓滑な仕事でも易々と運んで行く

大東　私ども方には、ときどきブローカーがやつて來て、十圓で買つた債券を八圓ぐらゐで買受つて行く、これではせつかくの國債消化の根本方法を毀すことになるので、此の頃は共同保管にして、それが出來ないやうにした

原田　地方人に債券知識を持たせることは今後ます〱必要になつて來る、それには、えらさうな理屈なんか並べ立てて見たところでどうにも、なつたわけのものではない、紙芝居でもなんでもよろしい、手つとり早く、その趣旨を徹底せしめる方法をとることだ

大東　國家の貯蓄額を職員に知らして貰ふ方法があれば、何かと都合よいですが……

工藤　既成組合や天引組合その他いろんな名目で、綜合的な成果を擧げて行くといふことは決して無駄なことではありません、ちようと地域組合だけでも生活にな人達をカバーして、立派にやつてのけてゐる組がある、かうした組合は自分の組合だけの成績を擧げるのが目的ではなく、お互ひに相携つて行く精神が何より肝要だと思ひます

國土防衛施設の擴充

花蓮港市新年度豫算通常市會

【花蓮港電話】花蓮港市昭和十八年度豫算を審議する通常市會は二十五、六の兩日午前九時から昭和記念館に於て開催されたが十八年度豫算は各課の要求額百十五萬一千三百四圓に對し財政當局を加へ決議下に極力節約し緊急を要する施設のみに止め不急事業は一切後年に繰延べて編成されて、總額歲額八十四萬四千七百三十四圓となり、前年度に比し十九萬六千四十八圓の增額を來せり

編成上特に重點を注いだ點は國行政機構の擴充强化、市行政區域の擴張整備、義務教育實施、家政女學校施設の擴充强化、青年學校教育の振興、國土防衛施設の擴充强化、生產力の擴充强化、各種奉公團體の强化、都市計畫事業の實施等決戰遂行上に緊急施設を要する物のみである

その主なるものは次の通りである

一、市政の擴充强化に要する經費（主に國稅事務入計畫調査費）一萬五千三百二十一圓

二、國民學校義務教育實施に伴ふ經費（主に吉川、佐倉、宮下を通學區域とする、國民學校新設費）七萬一千八百五十二圓

三、家政女學校施設充實に要する經費一萬九千五百八十一圓

四、青年學校教育振興に要する經費（主に本島人青年教育を目的とする青年學校新設費）四千四百五十五圓

五、防空施設整備强化に要する經費十萬九百十六圓

六、消防施設整備强化に要する經費一萬七千七百七十九圓

七、生產擴充施設に要する經費二千百十圓

八、皇民奉公運動强化に要する經費一萬八千[illegible]十五圓

九、都市計畫事業實施に要する經費十七萬九千九百五十圓

十、衞生施設、汚物掃除內容充實費三萬六十四圓

十一、道路橋梁補修に要する經費五千四百九十圓

十二、職員待遇改善に伴ふ經費一萬八千九百五十四圓

子供挺身隊

赤誠の獻金

花蓮港廳朝日國民校の赤誠

【花蓮港電話】"勝ち拔かう戰爭に"と決戰生活に融込まれたヨイコドモの挺身隊が打ち樹てたこれは戰時國校の殊勳話である、國民學校の大東亞戰爭開戰一周年記念日の十二月八日であつた、花蓮港朝日國民校六年生石原英夫君は"ただいま"と聲をかけて家に歸つて來て、そのまま玄關口へ學校の道具を投げ出したまゝどこか何所かへ出かけて行く──英夫君について來る、さういつた風の子供達が一人ふえ二人になりはては九人までになつた、さあ大變"內の子供は今頃まで勉強もせず何所を遊び廻つてゐるのだらうか"とお母さん達は心配で堪らない──ところがこのヨイコドモ達の一團は英夫君の音頭取りで花蓮港から運送通りを軒並に廻つて"おじさん、これ不用でしよう"と鐵屑を見つけ出して古廢物に廢物掘りを見せて山田さんから借受けたリヤカーに古鐵の山を積んだのでこれを廢品統制會社に賣渡して代金二十三圓五十錢を貰ひ早速兵事部へ國防獻金として屆出てそれ〲嬉しくなつて家に歸つたのであるが、先生に命令されるのでもなく全く自發的行爲から上級生の英夫君は進んで範を示し下級生は上級生の愛國心を見習つてまた實踐したことが、この校長先生の耳に入りヨイコドモ達の挺身隊が實現されたのである、後藤校長は語る

英夫君のお父さんについ先日父兄會のことでお會した時に初めてた

皇奉へ挺身協力

臺中市支會諸團體査閱

【臺中電話】皇奉運動の飛躍的發展を期し奉公團結成以來の活動狀況を檢討、今後益々強力なる活動を促進すべく皇奉臺中州支部主催の臺中市支會諸團體査閱は十三日午前十時から臺中一中講堂に森田支部長以下支會長、平野州文書課長、高橋學務課長以下推進員、鮎川俱樂部員、奉公壯年團員、婦人部落會長各奉公班長、町委員等二百餘名出席して開會、國民儀禮に次で各團體代表者より結成以來の活動狀況の報告あり正午休憩、引續き午後一時半より神社外苑野球場で森田支部長査閱官となり閱兵、分列式を行つてのち講評、山下支會長の挨拶あつて午後一時半各團員とも奉公運動に挺身協力する決意を眉字に現はし終了した

名式は八日部會議室において擧行左記指示事項に依り常會を開催した

一、上意下達事項の徹底に關する件

二、常會の運營指導に關する件

三、國語常用推進に關する件

四、國民貯蓄運動に關する件

五、二月常會申合事項に關する件

六、婚禮葬儀の改善指導に關する件

七、ラジオ常會第二放送利用に關する件

八、生活刷新節約運動に關する件

九、補助貨回收に關する件

一〇、國民貯蓄獎勵に關する件

一一、農民奉公[illegible]に關する件

一二、國民防諜に關する件

【二月分常會申合事項】

一、戰力增强の爲め島民擧つて皆働きませう

二、國民貯蓄をやり拔きませう

三、補助貨を進んで交換しませう

大蘇澳の建設へ

第一期計畫地域懇談會

【蘇澳電話】蘇澳街の都市計畫は皇民奉公運動の街興事業として愈々實施する事に決定したので六日蘇澳街役場に計畫地域內の住民を代表民等に高野街長司會の下に懇談會を開催したが、第一期工事は大通りより郡役所に至る二路線と郡役所より化成工業會社に至る二路線および驛前の路線となつてゐる

此の市區改正は蘇澳港の發展完成の曉には偉大なる效果を齎すもので然も計畫工事に全部國庫支出で受益者に課せらるる負擔も無い代りに土地や家屋に對する補償もせぬと云ふのが建前となつてゐる

懇談の結果街民も將來の發展を期すべきものあり悉く喜んで土地家屋を提供する事になつた

嘉義郡下新年度豫算審議會

【嘉義電話】昭和十八年度嘉義郡下各街庄の豫算は十二日を以て審査を終り左記日割に依り各協議會を開催する事に決定したが新年度豫算總額は大體百三十五萬圓程度で年度に比し凡て二十四萬圓の增となり、主として新年度より實施される義務教育に伴ふ教育費の膨脹、生產の施設及び自然增に依るもの、二十日大埔、番路、二十一日溪口、民雄、二十三日大林、中埔、二十四日新巷、竹崎、二十五日水上、小梅

皇奉新化郡支會推進員指名式

【新化電話】臺南州新化郡の皇民奉公會新化郡支會推進員[illegible]

臺南州奉公推進座談會

【臺南電話】皇奉臺南州支部では奉公運動向後の展開に資すると共に推進員宮木支部長、各部長、班長主事以下が臺南市街庄の第一線指導推進の實際指導に努めた報告の綜合座談會を來十二日午後二時

肥料配給所新設

高雄州農會の增產計畫

【高雄電話】戰時食糧の增產に伴ひ肥料の配給の圓滑を期するため高雄州農會では十七年度事業として新たに肥料配合所を新設することとなり、高雄市田町驛の向ひに九千餘坪の地を選定し近く工事に着手することになつたが、同地鎮祭を十五日午前十一時現地で執行する、因みに新設肥料配合所の配合能力は一日二百餘噸で既設配合所の倍以上で同工場がその機能を發揮すれば州下における肥料の配給は一層合理化され增產に寄與するもの大なるものあるのと期待されてゐる

司法書士號へ

千六百圓獻金

【新竹電話】全國司法書士一同は飛行機『司法書士號』の獻納運動を起したが、新竹地方法院管下所屬の司法書士十八名も欣然これに參加し去月來醵出獻金に努めた結果金額二十四圓宛獻金と決定、十日には千六百圓の獻金まとまつたので送付の手續をとつた

良い子の獻金

【宜蘭電話】宜蘭郡礁溪國民學校四年イ組の良い子ども達はお小ひを節約して五圓八十錢を醵出、十一日紀元節の佳き日代表賀[illegible]士君が本社支局に持參"獻納獻金にして下さい"と申出たので支局では市兵事係を通じてその手續きをした、又羅東郡冬山國民學校のヨイ子供は八日冬山庄主催の遊家族慰安學藝會に出演し賞金十圓を贈られたが十一日紀元節の佳日に羅東郡兵事係に寄託し國防獻金を依頼した

五十圓獻金

【嘉義電話】嘉義市錦水炭鑛組合員一同は皇軍の赫々たる大戰果に感激し感謝の赤誠を披瀝する爲五十圓を醵出し十二日嘉義署を通じ國防獻金した

臺南漁業組合

通常總會

【臺南電話】臺南州漁業組合聯合會は創立以來飛躍的なる發展を遂げその漁獲高年九十萬圓を突破し本州水產業界に寄與するところ大なるものがあるが、十二日午前十時より州會議室に通常總會を開き木田會長以下組合員が出席、第一號、第二號議案、役員最高限度決定の件外六件につきそれ〲協議可決午後三時散會した

結婚相談にも應ず

皇奉新竹州支部生活相談所を新設巡回

【新竹電話】皇民奉公會新竹州支部に於ても昭和十八年度よりいよいよ生活相談所を設置することとなつたがその計畫內容は州下各市郡に移動式に直接出張して民衆に接觸する外州直營の常設相談もうけつけ回答については奉公會各班長又は有識者、專門家を夫々州支部內及び各州郡部に委員として嘱託適切なる指導をすることになつてをり生活上、經濟上の諸問題、結婚、法律、醫療衞生其他萬般の相談を引受ける外下部上通の機關ともしかわりでも結婚については國家の要請として積極的に紹介し各委員を働かして未婚の男女適年を登錄した上先方よりの相談をまつ事なくすすんで双方月下氷人をかつて出てまとめあげようといふ點で從來の陋にみられた單なる紹介所になる樣な空疎なものとは自と趣の異なつたものにする方針である、九日午後開かれた支部役職員常會で兩主事より概要を說明したが近く更に文化班常會で案を練つた上具體化することになつてゐる

屏東市孔子

祭總會

【屏東電話】屏東新文會では十二日午前十時より孔子祭を執行、坂上會長以下全會員參拜、宗師拜禮、小休、高女校長等臨席の下に式は祭主高樂神職に依つて厳かに執り行はれ、式終つて第五回總會に入り偉大さを偲び十二時散會した

傷痍軍人會屏東分會結成式

【屏東電話】傷痍軍人會屏東分會では十五日午後二時より屏東會館に於て州支部長臨席の下に結成式を擧行した

志願兵前期修了者の强行軍

【屏東電話】屏東市出身志願兵訓練所前期修了生一同は四月入營を目前に控へて心身の鍛錬をなすべく十四日午前九時、屏東出發旗山迄六粁の道を二貫五百の砂嚢を背負ひ强行軍をなし旗山にて晝食休憩をなし六時歸屏の豫定

血書以て君國に殉ず

屏東市陳書烈々の志願兵

【屏東電話】十日夜八文字屏東市兵事課長宛に差出人屏東市大宮町一丁目六十四番地陳書から烈々たる愛國心と真の日本人となり得る熱誠を書きつらねた左のやうな手紙が屆けられた

どうぞ私を志願兵にして下さい、私は真の日本人となりたいのです、そして最高の榮譽である軍人になつて陛下の御ために命を捧げる覺悟であります

そしてこれに添へて「一死報國」と書いた血書が同封してあつた八文字課長は非常に感激し「陳君は試驗の成績も優秀です、この際な意氣を持つ青年は是非希望を叶へてやりたいものだ」と云つてゐる

臺南州下青年學校聯合演習

【臺南電話】大東亞戰下青年學徒の心身鍛錬と時局の要請に即應せしむべき青年訓練成果の綜合的成果の

消費市場設立

市民の御臺所

臺南市で早急實現化

【臺南電話】臺南市では飛躍的に發展する市勢に對し市民の便宜に資する爲十七年度事業として工費四萬三千餘圓を投じ消費市場一ケ所を新設する事になり十二日午後四時竹園町消費家族住宅向ひ側に於て列島市長以下官民參列の下に地鎮祭を執行したが、新消費市場は建坪一〇三坪に鮮魚、蔬菜、食料その他を販賣、來る四月中に竣工の豫定で市民に喜ばれてゐる

紙芝居入賞者審査

【臺中電話】臺中州税務課では納稅報國の實を擧げるべくかねて本島人衆向に適合した紙芝居脚本を募集中の所、應募作品は何れも傑作揃ひで慎重審査の結果左記の通り入賞者を決定十二日發表した、因みに入賞作品は直ちに具象化部を一般に委嘱各市郡に上演し納稅精神の普及につとめる事になつた

一等　該當者なし

二等　限りなき前進　高雄市　岡戸榮

二等　一家團欒　員林　江傳得

三等　晴れ着と父　新竹州　岩村寶司

佳作　奉公班の王座　嘉義市　白崎雄治

臺中家政校の運動場開き

【臺中電話】臺中家政女學校では十四日午前九時より同校運動場をそかれて第一回陸上競技大會を開催すると

綠肥作物增產新年祭行事

高雄市の催し

【高雄電話】高雄市の市主部では、十三日午前九時半から飛行會議事堂で綠肥增產祭並びに豫算等の下に開催された、午前中は十七年一期作の成績、バナナ、パイン耕作面積の減少、十八年一期付作物に關する作物增產問題[illegible]について協議が行はれ、午後は甘蔗作付畑の地域にする作地來利用地帶による

高雄に海員援護會組織

【高雄電話】荒波たる大東亞全域に或は敵潜水雷を拔り、或は怒濤を衝いて、[illegible]の輸送に挺身する海員の援護に關する[illegible]を組織、[illegible]

嘉義油桐造林組合總會

【嘉義電話】嘉義郡では廣大肥沃なる山地の保育に鋭意努め年々成績を擧げつつあり、更に昭和十七年度には大埔、下山手方面、中埔、竹崎、大埔

臺中州主催の高砂青年大會

【臺中電話】臺中州警務部主催の第二回高砂族青年大會は十八日午前九時より臺中公園相撲場に於て開催すると

嘉義高女白衣勇士慰安

【嘉義電話】嘉義高女では十四日午後一時より同校講堂に於て白衣の勇士及び出征軍人遺家族を招待し劇、音樂、舞踊會を開催する

日婦宜蘭支會鍊成會

【宜蘭電話】大日本婦人會宜蘭市支會では婦人鍊成會を十六日午後二時より四時まで市公會堂にて開催することとなつた

洪爺さん大往生

阿片鑑定十八年

【宜蘭電話】十八年間阿片鑑定人として實直に勤めあげた洪呂年（七十）といふ爺さんが十日宜蘭ボックリ大往生を遂げた、專賣局の阿片事業に功績を遺したこの爺さんは高貴のお方や往年の高位高官の前でも泰時よりもまま阿片吸金の實況を御覽に入れる爲め職域とは言へこの時許りは天下の名の不作法を許されて來た見上品さうに見受けられたといふこの爺さん、最近では戶田侍從の前でも實演したがあれが宮仕吸食の最後であつたといふ爺さんが十八年間職務に忠實に官賞で戰つた阿片はなんと二萬圓に上つて居るといふから一面爺さんの死は阿片吸食の際をまざ〲と世人に語る爲めの死であつたとも言へよう

赤誠の獻金

軍司令部（十二日）

獻金　一圓二一錢臺北市西門町十一星商店、五〇圓臺北市新地町塚出更、五三圓七〇錢七星郡北投庄天呉山道場安藤政治、一二五圓

臺北市新富町山口昭章、七九〇圓臺北市壽町吉田英次、三〇〇圓臺北市下奎府町竹野時、一三圓一六錢臺北市堀江町陳呂水、一、〇〇〇圓匿名、一圓九三錢臺北市下奎府町周氏水、一〇圓臺北市下奎府町二十四保八甲林瑞慶、二圓五一錢臺北市綠町小野寺元人、三圓三一錢臺北市兒玉町四十八番公班村上忠美、四圓九七錢臺北市新富町醫野治、計二、二二六圓七九錢

恤兵金　一、一〇〇圓臺北市新榮町醫野治

臺北市大正町國民學校、一〇圓臺北市大正町三條十二分區第四班大日本婦人會、三一圓臺北市南門國民學校武田千惠子、一二圓臺北市八甲町陳永昭時、計一一〇圓四三錢、二月來計四四、七九六圓三三錢

獻品　衞府若干臺北市末榮團民奉公會高一隣民金風外三名、古錢若干臺北市新富町醫野治、銀貨（一圓銀貨二、メタル一）臺北市新富町醫野治

七段對五段戰

【第二回】

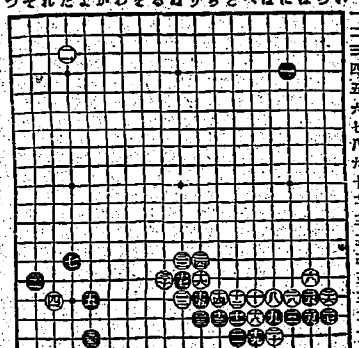
七段　加藤信

先番　六段　篠原正美

（二目半コミ出シ）

持時間各十一時間　一分以內切捨

消費時間（白〇〇時間三分　黒〇〇時間十八分）



○二六…ろ六…　●二七…ろ七3

○天…に天…　●二九…に七…

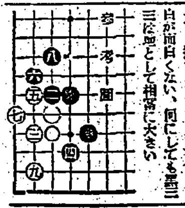
○三十…ろ五…　●三一…そ六3

○三二…ぬ七…　●三三…よ六4

黒大地域確保

【解說】七段　岩本薰

◇白三二の打込きは、中央に向つての勢力絶大となり、如何にもかく打ちたい處ではあるが、強に黒に左下隅を三三と打たせたのもかなりな險頂な成を與へて、白必ずしも十分であるか疑問である、よつて白三二の手では參考圖の如く左下隅を一以下七までの如く打ち、黒八と守れば白九と打つてゐて、次に黒から左上隅に對して、「たノ廿」とかかつて來れば、そのとき白は三三とボン拔いてゐる形が成立したのではならうか、白三三で同じく左下隅を打つにしても「よノ十七」とツケて行くのでは黒に「たノ十七」と割込まれ、白「たノ十六」のとき黒「れノ十七」と押すこととなつて、これは白が面白くない、何にしても黒三三は地として相當に大きい



大いなる祭 (66)

中野實作

三芳悌吉畫

河南地區（十二）

「なんだの」

と白鳩は手袋を脱いたらしいその紙片に目を落すと。西陽第十番路、隣々居三階といふ所番の下に詳しい地圖が書いてあつた。

「なんだか判りますかね」

と要は探るやうに聞いた。

「七番の連絡場所ぢやあないかしら」

「流石」

と要はぴちりと指を鳴らして、

「図星です。こいつを手繰つて行けば稼時英も袋の鼠でさあ」

「要門の仇をとれるつてわけね」

「まあね。美々もきつと喜ぶでせうよ」

「美々もね」

と白鳩は皮肉な笑ひをうかべながら、

「要を片附けたら、要さん、あんた、あの美々と夫婦になるといふ約束でもしたんぢやあない？」

「まさか……」

「ほほ、要さんらしくもない。顔を赤くしてゐるよ」

「そんな……」

「要さん、お隠しでないよ。知つてゐるよ」

「知つてゐるつて、何をです」

「お前さんにねらはれたら、稼時英どころか、美々の良人の季節だつて……」

「え」

ぎようつとする要三笑を尻目にかけながら、白鳩はふうつと煙草の輪を天井に吐きかけて、

「あたしが知らないとでも思つてゐるの。よしておくれよ」

「だつて……」

「だつてもへちまもあるものか。季節が重慶政府と南京政府の二股をかけて、謀殺を云つたからといふのは表向きの理由で、ほんとはあんたあの美々が欲しかつたからなんぢやあないの、ブリツヂマンが云つてゐたわ」

「はははははは」

要はわざと大聲で笑つて、

「どうも白鳩さんにかかつちやあぐうの音も出ませんや。要三笑、手をあげますよ。が……」

と何か云はうとするのを、白鳩は制へて、

「わかつてる。魚心あれば水心と云ひたいんぢやあない？」

「え」

「美々にはそのことを絶對に内密にしておいてくれ。その代り、あたしの弟のことは、自分一人の胸にたたんでおいて、絶對には喋らせないからといふ條件でせう」

「はは、どうも、さう先をうたれちやあ……」

と要は狡猾な笑ひを含んで、

「どうですね」

「いいわ。あたしが季節のことを美々に喋舌つたら」

「あつしがあんたの弟を眠らせる」

さういふことにお取り締めを願ひたいですね」

「要さん、乾杯しよう」

「おつと、では、お相伴のしるしに」

白鳩はウヰスキー・グラスになみなみと琥珀色の酒を注ぐと、要とグラスをかちんと鳴らし合つて一息に呷つたが、

「ほほほほほほ」

と意味なく強つばに笑ふ白鳩の顔に、ほつとした安堵の色が浮ぶのを、要は上眼づかひに眺めてゐた。

電力を

マツダランプ

大切に！

東京芝浦電氣株式會社

これまでに色白法に成功しなかつた方にまづジュジュの御試用をお奬めします しばらくの御使用でお肌に如何に効果あるか、きつと御滿足がゆきます

白色　專用　25セン

內科　吉田內科醫院　電話四八五五番

內科小兒科　南風原病院　電話北市六六〇

石堂　タイピスト　齒科　社員　寫眞　求人　求欣　女子　女工　車夫　荷造　福泊　貸事　工場　印畫　中古カメラ買入　レコード　レコード　引越　京染　玄米　袋物　特許　梅肉エキス　刀劍專門　新古　結婚　溫泉　靈感　塵紙　胡瓜と西瓜タネ大荷

二月十四日より　午後四時開場　午後五時開演
東西大歌舞伎
幹部連名　市川右田治　市川右升
東西合同大歌舞伎　尾上喜久太郎　片岡一太郎　市川傳二郎　實川正二郎　岩井梅枝　尾上小太夫　片岡芳之助　中村孝笑　山村三次郎　嵐　中村歌藏
返り興行藝題　一、伽羅千代萩全通し　一、鎌倉三代記
入場料　一圓八十錢　別席二圓五十錢（共稅）
榮座
臺灣興行統制會社提供

かぜにつね　ハカリ印の　ヘブリン丸　二十錢ヨリ

肺病まくでお困りの方は　吉田ドラッグへ御相談下さい

治せ肺病　づつうにサール　肋膜炎も同じ療法で

能率增進　頭の痛みと疲れに　ノーシン　一人三役省働　★頭痛や頭が疲れて居ては能率は上りません。スグ！なノーシン一服のんで下さい。安全な効果が速く、清涼明快・能率はグッと倍加致します　三十錢五十錢一圓　發賣元　荒川長太郎合名會社

胃腸の諸疾患に良く奏效し、各方面に賞用さる。

校長　陸軍大佐　沖貞男　中野高等無線電信學校　東京市中野區江古田